京城日報

廿三日夕刊

定價 本紙一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢
廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲三號活字 ▲一行に付 ▲特別 ▲一行二號活字の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號

◎南京會議出席代表者

漢口來電に依れば南京會議に出席せる湖北省代表楊文愷の報告に曰く各省代表の既に到着せるものは河南、江西、山東、山西、湖南、福建、直隸、安徽等にして未着者は四川奉天なり尚ほ同會議は二十五日開會すべし（上海特電）

◎湖南省の大勢定まらん

廣西軍に對する批評

湖南省は今後大戰なくして大勢定まる模様なり尚ほ廣西軍今日迄の行動は頗る紳士的にして毫も批難すべき點なしと（北京特電）

◎奉天將軍の態度曖昧

奉天の張將軍は陰に宗社黨と提携せる形跡ある爲め目下北京政府の嚴重なる監視を受けつゝあるが近來袁總統の勢力稍快復の模樣ある爲め更に其の態度を曖昧にし昨今は切りに袁總統擁護を唱へ居れり（大連特電）

◎財政總長

周自齊孫に代る

段內閣總辭職に關しては其の筋には未だ何等の情報なきも財政總長孫寶琦其の地位を去り周自齊之に代れるは事實にして財政上懸問題多き此の際孫の如き門外漢にては之を處置し得ざるを以て經歷及び手腕あり梁士詒とも連絡ある周を入るゝの已むを得ざるに至りたるなるべしと云ふ（東京特電）

◎滿蒙境界問題

支那政府が滿蒙兩地の境界を獨斷にて決定布告せる件は實地調査の必要上本問題に關する日支兩國政府間の交涉多少時日遷延を見るべし（東京電報）

◎吉林一悶著か

吉林にては許將軍の驅逐運動にて新任畢軍師の排斥を試み居れり一悶著起るべしと（大連特電）

◎波羅的の制海權

未だ獨逸の掌中に歸せず

露國潜航艇最近の活動は波羅的海の制海權が未だ獨逸の掌中に歸し居らざるを確證するに足るものあり即ち獨逸は其の強大なる海軍力を以てしても猶其の根據地に對して軍需品の供給を爲すに必要なる瑞典との海上交通の安全を保證するに充分ならず

◎露軍各方面の戰報

露都公報に曰く獨軍はイラクスト地方及びイランコ北方に於て攻勢を取らんと企てたるも多大の損害を被りて擊退せられたり其の他の戰線に於ける戰鬪は主として大砲小銃戰に限られ居れり又た高架索の露軍は引續きモスロー方面に進出しつゝありと（倫敦電報）

◎獨人所有日本公債の賣出

獨逸國人の所有にかゝる日本公債米國市場を經て賣物に出でたり之を購入せば敵國に資金を供給する事となるを以て一般の警戒を要すべしと（東京電報）

◎海軍引受小口徑砲

海軍省に於て製造を引受くべき本年度分小口徑砲は英露兩國分を合し一千萬圓に決定せり（東京電報）

◎工場法施行令續議

廿二日午前九時より樞府特別委員會を開き工場法施行令に就き續議せり（東京電報）

◎石油と當業者

石油値下說あるも需給關係尚ほ平調に復せざるを以て當分値下げせずと當業者は聲言せり（東京電報）

◎露大使東京著

新任露國大使ビーズ、クルペンスキー氏は二十二日午後八時三十分東京驛著列車にて入京せり（東京特電）

◎山縣公全快近し

政務總監歸任談

山縣政務總監は二十三日午前九時卅八分下關著山陽ホテルに休憩同夜の連絡船新羅丸にて歸鮮す其の談に依れば山縣公爵の病氣は殆んど全快に近し今回は從來の持病たる腦の病氣に加答兒性の肺炎を加へ又血尿ありたるを以て騷ぎたるも血尿は之迄も屢々ありたる事にて肺炎も全癒し目下猶ほ萬事に任り用心し居れるも既に全快に近く安意して歸任する次第なりと（門司特電）

◎井口軍司令官

井口軍司令官は管內巡視の爲め二十二日木浦に來著二十三日午後三時海南に向ふ（木浦特電）

◎司法官會同（第二日）

司法官會同第二日は前日に引き續き二十三日午前九時より總督府第二會議室に開催、司法官一同は勿論寺內總督以下各部長官、局長、關係各課長等出席し國分司法部長官總裁の下に直ちに日程に入り、午前は諮問事項の答申、午後は協議ありて四時閉會したり

◎定例長官會議

二十三日は定例長官會議日なるも午前は總督以下各部長官等司法官會議に列席の爲め午後二時より第一會議室に開催寺內總督以下各部長官、局長等出席し重要政務に就き協議打合せあり午後四時散會したり

◎京畿隊署長會議

京畿道警務部管內に於る隊署長會議第四日は二十三日午前八時京畿道構內宣化堂に開催各隊署長二十八名の外隊本部副官主計警務部警視及び各主任警部出席隈部隊長統裁の下に打合事項あり正午休憩の後午後一時より再開部外講話として檢事境長三郎氏の講演あり四時散會せり廿四日午前中打合事項あり午後一時より部內講話として檢事正松寺竹雄氏の講演ある筈

◎鍋島直映侯

入京中なる鍋島直映侯は中村純九郎氏と共に廿三日午前水原に赴き模範場を視察同夜歸京の筈なるが廿八日は漢陽公園に於ける佐賀縣人會の園遊會に臨み其後自家經營の平澤の農場も視察し金剛山見物も爲す筈にて三週間餘り滯京の豫定なりと

◎山口要港司令官

鎮海要港部司令官海軍少將山口九十郎氏は廿三日午前入京朝鮮ホテルに投じたるが直に龍山なる鐵道局を訪問せり

◎吉原總裁歸任期

吉原東拓總裁の歸任は株主總會終了せしも尚ほ用務ある爲め六月上旬に入るべく井上理事堀江監事と共に兩參事等は月末迄に歸任の豫定なりと

◎物集博士消息

物集博士は二十三日午前九時十分南大門驛發汽車にて平壤に向へり同夜は同地に一泊二十四日鎮南浦に赴き附近視察の上午後三時より本社平壤支局主催の講演を爲し二十五日更に平壤に入り同じく講演あり二十六日夜再び入京二十七八兩日滯在の上大邱釜山を經て歸東の筈なり

◎吉田監査官送宴

京畿道勸業主任より土地調査局監査官に榮轉したる吉田金作氏のため道勸業課員四十餘名二十三日午後五時半より本宮に於て惜別會を催せり

◎東拓四年度事業成績

吉原總裁の演說大要

二十二日東京に於ける東拓定時株主總會席上吉原總裁の演說せる要旨左の如し

株主各位、本日第八回定時株主總會を開くに當り御繁用中にも拘はらず御來臨を辱うせるを深謝す

▲米作と收益　大正四年度に於ける各事業の成績に付略言すれば現在社有地の總面積は七萬三千餘町步なるが本年度の稻作は朝鮮全體を通じて昨年に比し一割五分乃至二割の減收にして社有地に於ても南部は水旱害、中部及び慶尚南道の一部は水害を被りたる所ありし爲め前年度の豐穰に及ばざりしと移住民貸付地の爲め耕作面積を減少したる等に因り小作料の收納を減じ籾二十五萬五千餘石を收納するに止まれり而して拾得籾の處分に付ては現地處分を以て有利とする場合の外多くは籾摺の上米と爲し東京大阪方面に移出せるが品種調製等の改良に因り著しく好評を發揮し價格亦良好なりしも如何せん一般米價引續き軟弱なりし爲め豫期の成績を收むることを得ざりしを遺憾とす又改良稻種の栽培に付ては本年度に於ても之が普及に努めたる結果全收穫籾約二十七萬石に達し內小作料として收納したるもの十萬六千石に上れり次年度に於ては全收穫籾約四十萬石に達する見込なり

▲水利及び開墾　水利灌漑事業及び未墾地開墾事業に付ては現に經營し又は今後經營せんとし調査設計中のもの尠からざるが其內前年來工事中なりし平安北道泰川灌漑事業は豫期に先つこと約六箇月昨年十二月を以て全部竣功通水するに至り所期の目的を達することを得たるが尚ほ川水配給上遺憾なからしめんが爲め目下更に灌漑の分水木樋增築工事施行中にして本年六月末には完成の豫定なり本工事の施行は地主の感謝措かざる所にして本年中には灌漑區域千九百町步の內八百町步の成績を見るに至らん又京城府外長安坪國有未墾地開墾事業は豫定の如く昨年七月全部竣功し其結果新に得たる耕地面積は四百二十八町步餘にして工事竣成後直に小作に付したるに開墾初年なるに拘はらず比較的良好の成績を收めたり其他造林、竹林經營亦好調にして前者は本社の貸付林は國有林中比較的稚樹密生の方面なれば之が手入保育に著手したるものは其成績頗る見るべきものあり又新植したる今日迄の植樹數は八百二十七萬九千餘本に達し後者の買收竹林は近時愈々林相良好となり又新植竹林も既に相當の林相を形成するに及び其內大正二年貸地を受けたる國有未墾地二十二町步餘の如きは事業成功のものと認め昨年六月其筋より附與せらるゝに至れり

▲拓殖資金の供給　拓殖資金の需要は米價地價の低下並に事業界の不振に基因し朝鮮一般に沈衰を極めたるが本社亦此影響を蒙り希望の成績を擧ぐる能はず即ち本年度中の貸出高は百二十七萬二千餘圓にして前年度に比し四十九萬四千餘圓の減少を見たり而して現在貸出總額は七百二十五萬餘圓（前年度は七百五十七萬圓）を算し其用途は農工債券引受高百六十五萬圓の外土地開墾及び改良、水利、築堤、農事經營、蔘圃經營、植林、果樹栽培、公共事業等にして產業開發上好影響を及ぼしつゝあるが右の內從來水利組合に對する貸出額は九十四萬八千餘圓に上り是亦地方生產力の增進に資する所少なからず

▲殖民事業　殖民事業は前年度に在ては前年報告の如く改正移住規則を適用し第六回移住民を募集收容し今や其總數二千九百四十三戶、人口一萬二千三百二十八人、之に貸付せる土地面積五千二百餘町步に達し移住後の成績は概して良好に上れるが移住民の貸付額二十一萬三千餘圓にして農事、衞生、生活の狀況一般に向上しつゝあるのみならず漸次附近朝鮮人とも融和し改良農法の傳播、組合的設備の整頓、地方經濟の發達を促進しつゝあり

以上は本社事業の概要にして其詳細は營業報告書に依り御諒知を乞ふ

仁川

▲物集博士講演會　本社仁川支局主催にかゝる物集博士の講演會は廿二日午後四時より仁川小學校雨天體操場に於て開催せられたるが府尹、郵便局長、海事課出張所長其他官公衙の職員及び一般有志仁川商業會議所役員、女生徒、商業學校生徒、小學校生等千有餘名の來聽者あり頗る盛況を極め午後六時半散會したり

▲商議役員會　仁川商業會議所役員會は廿二日午後七時より開會し定款第五項の次に一項を加へ「米穀改良の速進を促す爲め移出米の檢査を施行する旨」追加し次で廿三箇條より成る米穀檢查規程を作製し尚ほ仁川精米業組合の依賴に係る鮮米對日輸出に關する請願の件に對しては會議所にても頗る時宜を得たるものとなし直に請願書類を總督に送達する事を決議し午後十時散會せり

▲仁川府の麥作　仁川府管內の大麥作は播種後生育順調なりしが一月及び二月上旬頃に於て常に氣溫上昇し概して多溫にして稀に見る溫暖の氣に經過したるを以て一時は不作の念を深からしめたるもの不尠も二月下旬より氣溫低下し略ぼ年來の常態を呈するに至りしに依り成育稍良好に進みつゝありしが五月に入りて例年に比し雨量多きを以て高燥の地に在りては寧ろ格別の影響を見ざるも低溫の土地たる一部は最近に至り成育不良に傾き前年に比し幾分の減收を免れざるの狀況を呈するに至れり收穫豫想高百二十二石なり

▲明治神宮獻金　仁川府管內に於て今日迄の申込者中二百圓以上の者久水三郎（二百圓）高木助市（二百圓）河野竹之助（二百圓）三氏に對する分は二十二日道委員長へ申込書の送附を了せり

▲崇敬者總代改選　仁川崇敬會にては從來の氏子總代を崇敬者總代と改稱し同時に從來の四組及び鮮人側より各二名宛都合十名の總代を從來の各町委員に於て選擧するに決し銘々に其々選擧投票用紙を配附せるが二十四日中に全部の投票を終り二十五日中に決定を見る筈也

群山

▲道長官來群　全羅北道新任李道長官は井上事務官野村庶務主任を隨へ管內視察の爲め益山郡を經て二十一日午前十時二十五分著列車にて來群停車場には官民多數の出迎ありて長官一行は直ちに谷口旅館に入り小憩後天野府尹の案內にて各官公衙其他を視察し午後七時よりは群山官民重なる者六十餘名を富士亭に招待し新任披露宴を開き席上李道長官の鄭重なる新任挨拶ありて大橋判事來賓側を代表して謝辭を述べ十二分の歡を盡し午後九時頃散會したるが李道長官一行は翌二十二日午前八時發稅關ランチ鎭丸にて竹島漁場の視察に向ひ同日夕刻歸群し一泊二十三日は沃溝郡內の視察を爲し當日午後七時よりは群山府廳樓上に開催すべき群山官民有志の發起に成る歡迎宴に臨席すべし

忠州

▲警務部長巡視　櫻井忠北警務部長は管內巡視の爲め十六日來忠十七日有馬分隊長川上作長を隨へ丹陽永春堤川方面巡視の途に就けり

▲管理者改選　明治四十二年四月以來忠州學校組合管理者として多年公共事業に盡瘁せし守谷佐市氏辭任につき十七日學校組合會議所に評議員會を開き後任者銓衡の結果園田顯分氏を推薦したるも園田氏は絕對に辭退せしが十八日午後十時再び評議員會を開き有吉大三郎氏を推薦し交涉中なり

▲禪製師巡錫　曹洞宗本山祥雲寺教務主事は布教狀況視察の爲め十八日來忠午後一時より曹洞宗布教所にて說教を爲し官民有志婦人會員等聽聞者頗る多く午後七時より忠北館にて組合委員の爲めに說き晚餐會に臨み十九日出發せり

間島より

目下支那の形勢は混沌として端倪すべからざるものあり段內閣の對時局策如何に局面を轉換し得べきか紛糾錯綜たる裡に南方は新政府を樹立し危殆の形勢は刻々促迫し東三省亦其波紋に觸れんとする五月初旬支那中央政府の發したる鮮人歸化本證は延吉道尹の許に著し目下該鮮人二千戶に對し交付中也此歸化鮮人は昨年間島問題勃發後支那地方官憲が苦心慘憺百方勸誘強て歸化の途を表せしめたるものにて之を人員に算せば一萬數千名に上るといふ偖て其鮮人中には土地を所有する關係上利害を打算し心ならずも入籍したるもの少からず▲本年二月發見したる汪淸縣汪淸河畔潤子溝附近の砂金は其質良好にして鑛域は延び目下支那人の採金從事者百名を算し一人一箇月廿圓の收得有と稱し同砂金鑛は遂に好望を以て目され居れるが近く支那官憲の手に經營せんとの議ありと▲先年居留官民の醵金によりて建立したる太神宮社殿は嚴として神威を推すれども從來御祭典日定まらず斯くては敬神の途を失する所以なりと議は一決し五月十六日を以て每年御祭典を執行し當日は官民一同國旗並に軒燈を揭げ每年龍井市の行事として敬神愛國の至誠を表せんと居留民會長は公示を發したり▲鈴木領事は十六日官邸に官民多數を招待し晚餐會を催ふす

◎露軍氣勢旺盛

露軍は氣勢頗に昂りレシャツキーツを占領せり（倫敦電報）

◎豫備交涉開始か

帝國政府は支那政府に對し日支新條約に基く滿蒙境界豫備交涉を開始せりと傳へらる（奉天特電）

◎王辭意を洩らす

袁總統派なる王國務院秘書長は段國務卿の政策遂行の困難なるを察知し近々辭職す可しとの底意を洩らせり（北京電報）

◎瀆職事件判決期

高松に於ける瀆職事件公判は二十二日を以て終了したるが判決言渡は六月五日と決定せり（大阪電報）

◎新島林學博士

林學博士新島善直氏は二十二日朝櫻丸にて內地に向け出發せり（釜山特電）

◎三島鮮銀理事

三島鮮銀理事は二十三日朝新羅丸にて釜山著午前十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

人事消息

▲山口鎮海要港司令官　二十三日朝入京朝鮮ホテルへ
▲中村辰五郎氏　入京中の處物集博士と同行二十三日朝平壤へ
▲鶴岡參政官　二十三日朝平壤へ
▲望月小太郎氏（代議士）　入京中の處二十三日朝奉天へ
▲和田彥次郎氏（貴族院議員）　同上
▲石渡敏一氏（同）　同上
▲阿部泰藏氏（明治生命社長）　朝鮮ホテルに滯在中の處二十三日夕浦尾旅館に轉宿の筈
▲宮角伸藏氏（總監部庶務課長）　出張中の處二十二日夜歸任
▲山岡檢事官▲國府檢事官　二十二日夜入京
▲內田良平氏（黑龍會長）　二十四日夜奉天へ向ふ筈
▲谷井濟一氏（總督府囑託）　二十三日朝入京巴城館へ
▲宮崎正隼氏（[illegible]）　二十二日夜入京旅館へ
▲京都府立第二師範學校生徒三十六名　二十一日夜平壤より入京同上
▲細納彌衛門氏（灘酒造家）　二十二日夜入京
▲渡部宗成氏（平壤教會牧師）　同教會[illegible]氏の後任として二十一日赴任す
▲金永完氏（李王職事務官）　二十三日より三日間の豫定にて高陽郡へ出張
▲鄭山智氏（會計課長）　二十三日午後七時五十分南大門發四週間の豫定にて東京へ出張
▲野口耕一氏（土木局元山出張所技師）　二十五日より二十三日間の豫定にて城津郡外五郡へ出張
▲大塚忠衛氏（視學）　大邱高等普通學校敎諭に榮轉家族を伴ひ既に赴任せり
▲肥田理三郎氏（東拓榮山浦出張所長）　事務打合はせの爲め入京中なり

一 南大門、櫻井、元町三公立小學校增築工事
此入札保證金各自見積價格百分ノ五以上
入札者ハ滿二年以上同業ニ從事シ現ニ京城府內ニ於テ國稅府稅又ハ學校組合費年額十圓以上ヲ納ムル者ニ限ル
右請負希望ノ者ハ當學校組合ニ就キ心得書契約書及現場等熟覽ノ上來ル二十六日午前十時限入札スヘシ但シ開札ハ即時
大正五年五月二十三日
京城學校組合

商業登記公告
不二興業株式會社取締役小寺源吾ハ大正五年五月拾九日辭任シタリ
[illegible]
右大正五年五月貳拾貳日登記
京城地方法院

商業登記公告
[illegible]
右大正五年五月貳拾貳日登記
京城地方法院平澤出張所

告京城分會員
來ル二十七日午後三時ヨリ南山本願寺ニ於テ海軍記念日祝賀會兼懇話會開催ス參列希望者ハ二十五日迄ニ分會事務へ申込アレ但會費金五拾錢
帝國在鄉軍人會京城分會

Family Hotel.
本館は市の中央にあり土地高層庭內廣く閑靜にして宿泊及び宴會には最も好適す
佛國式料理　宿泊　宴會
京城府太平通二丁目
ファミリーホテル
館主 ミセス、ホーエル
電話 二一八番

白檀油代用藥
ゴノサルビン
發賣元

寫眞
寫眞出張撮影
京城日報社 寫眞製版部

あやめ……南山町岩佐氏庭前……

◎細論したらアラもあらうが 成功は豫想以上
佛蘭西や伊太利よりも生き／＼した朝鮮の山
石渡和田兩貴族院議員の談

入京中の石渡敏一和田彥次郎兩貴族院議員は往訪の記者に交々語る「二人共朝鮮入りは初めてだから觀る者聞く者悉く珍らしい、朝鮮の統治や拓殖も細かく論じたら多少のアラはあるだらうが大體に於て私等の豫期して居た以上に成功し殊に幼稚園は終つてゐる、私等は朝鮮の隨所に未墾地を發見し又朝鮮人は大抵長煙管を啣へブラリ／＼遊んでゐるだらうと思つてゐたら事實は大變違つて平地と云ふ平地は山間も河岸も耕され其の田畑に朝鮮人が根氣よく孜々として働いてゐる、尤も內地の農村に比べると

▲農家は少ないし▼

耕地の整理も大變劣つてゐる、コレは自然朝鮮の農法を疎放ならしむる所以と考へらるゝが疎放にせよ兎に角朝鮮の耕地は殘らず手を入れられてゐるから內地の政客などが東拓攻擊の一材料としてゐる年々一萬戶の二萬戶のと云ふ農民を朝鮮に移植せよと云ふ議論は非常の暴論だと思はれる、乃ち左樣な多數の農民をドシ／＼朝鮮に容れるとすれば收容の餘地がないから現住の鮮農民を何れにか手酷しく追ひ遣らねばならぬ、それで

▲寺內伯鮮民撫育▼

の大方針と大いに矛盾して來る內地の移民は矢張現今の如く年一千戶未滿を旣墾地にバラツと入れて鮮農に實地的模範を示す外はあるまい、私等は朝鮮の連山が禿げてる／＼と云ふ話しをのみ聞いてゐたから見渡す限り赤茶けてゐるだらうと思つてゐたが存外山に油が乘つてゐる、此の位靑色を帶びてゐれば佛蘭西や伊太利の山より餘程生々してゐる、殊に植林と云ふよりも

▲天然稚樹の保育▼

の成績殊に擧つてゐるのがよく目に映る、コレは將來其の效果が非常に大きからうと思ふ、割合に荒れてゐるのは各河川だ、それに山國の朝鮮としては牧畜殊に羊の飼養の如きはホンの初步らしい、僅に洗浦附近に模範場の緬羊を見たが羊毛の內地に於ける需要は大したものだからコイツは朝鮮も盛んにやつて欲しい、京城でもさう思つたが亦元山でも一寸鮮人町を步いて感じた事は存外朝鮮人の奇麗な事だ、衣服は無論だが

▲家の中がサツパリ▼

してゐる町を步いても臭くない、支那人の家は外觀は大きいけれど中は汚なくて臭い、鮮人は家は小さくても淸潔だ、其の異つた所を私等は面白いと思つてゐる服裝態度等より觀ると現今の朝鮮人は吾が奈良朝時代の人を見るやうだ、朝鮮の古美術品も昌德宮內で大分參觀した、あゝした古文明を有する鮮人は薰陶の仕樣で將來立派な國民となるであらう」

□皇后宮御養蠶
蠶兒一千匹御手づから御飼育し給ふ

皇后陛下御指導の下に宮城內紅葉山の畔に御施設あらせらるゝ御養蠶所概況を漏承はるに皇室蠶具等の完備せるは申すも更なり次第なるが其計畫としては蠶繭十石を生產し得るものとして桑園一町步を設け其の他の設備又之に伴へり而して本年は蠶種二十五枚を掃立て種類は在來の日本種日支交配種日歐交配種にして蠶兒發育の狀況は頗る良好なるやに拜察したり殊に學理を攻究したる完備の飼育方法の外に一般農家に適用し得らるゝ極めて簡易の方法をも試驗せられ又た蠶兒の內一千匹は陛下御手づから御飼育に係るものなりと（東京）

◎今日半島の民に喜色あり
▽鮮人を後から突き除けた十年前 ▽武斷は當然＝見るべき敎育の現狀
＝代議士望月小太郎氏の談＝

東京を出發する前大隈首相に會つた處が朝鮮は現總督の政策で恰で見違へる程になつてる筈だから其れを見てくれと云ふ事であつたが我輩十年振りに朝鮮の土を踏んで今頻りに驚愕の眼を瞠つてゐる處だ先づ釜山上陸と共に驚いたのは

△山野の緑深い 事で季節もあらうが千年前國亡山河在りと云ふ其儘の景物が一變して樹木が欝然としてゐる釜山に上陸して市中を行くに一步々々深き感慨に囚はれた際だが十年前路傍に蹲踞して長煙管の煙の行方を眺めてゐた姿が無くなり其處に活動的人心の轉化を認め十年前日本人車夫が荷を負ふた朝鮮人夫の脊を突き除けて驅けた有樣が消えてベルを鳴して警戒して行く樣に成つてる其處に人類愛撫の美が顯はれてゐる十年前に見た鮮人の顏面には山河冥濛とした憂ひの色があつたが今日の朝鮮人には喜色が輝いてゐる十年前の釜山は鮮六內四の割であつたが今日堂々たる

△海陸連絡設備が 出來呼べば應へん指顧の裡に下の關と同じレベルの文明が築き上げられてゐる京城に來ては南大門通りの道路設備が完成せられ朝鮮ホテルの善美を盡した設備がある大に我が意を得た一體外國人が橫濱あたりに上陸して東京に行く迄に見た陰小な家屋に依つて直に直覺して日本に對しての侮蔑的感じを懷く樣に感の如きは正に人類の動物的直覺なのである釜山と云ひ京城と云ひ朝鮮が感の如く

△設備せられて行く 事は大に好しと言ひ度い今日我輩は朝鮮兒童が人類自然の快樂に醉ふて嬉々として遊戲してゐる管仲が言つた樹を植ゆるは十年の計、人を敎ゆるは百年の計と、今や朝鮮に於ては樹と人とを並び植ゑつゝある其蓊欝として繁茂する時期して待つべしである我輩は嘗て新聞雜誌で頻りに朝鮮の武斷政治を難じたのを見たが

△請ふ歷史を見よ 何處に燕尾服とシルクハツトで殖民地經營に成功した處があるアルサスローレーンは四十六年間未だに鐵と劍との縛を解かれないではないか然るに佛蘭西のフロツクコート政治を見よ安南、東京、モロツコ皆失敗の跡ならざるは無い然も殖民地の被統治者たる者は善惡に拘らず總て反抗したがるもので希臘、羅馬、カルセージの古ならずとも比々皆然り之を統治するに武斷を以てするは當然の理でルーソーの亞流を酌み

△徒に平等主義 を以て云々し批難せんとする者があらば寧ろ十八世紀の舊思想なりと哂はざるを得ない見ずや西歐の天地渾沌として平和ならざるものは其の存在さへ沒却せられんとしつゝあるでは無いか一國民に然り況や殖民地の統治に於てをやだ論者は言論の不自由を言ふ大によし萬一之をしも勝手ならしめて英米露獨皆來り論じて喧々騷々遂には日本人は追出されてしまふかも知れない論者は又曰く總督の行くや王者の行くが如しと是亦大によし

△總督は峻嚴にし て近寄るべからざる者とし新附の民をして反抗の氣を起さしめざるに努めなければならぬ然して一方敎育の施設等に無限の愛を注ぐ嘗て佛帝奈翁巴里に入る時ブールボン王統を初め貴族も僧侶も皆反對した此麻の如き佛蘭西を如何に統治せんかと思ひ惱む時有名なマダム、ローランに會つた夫人は曰く「學校を作れ」と、卽ち奈翁は巴里の女子敎育に努め大帝位の礎を築くの一助と爲した朝鮮の五十年後は今卒知らず現今に於る敎育狀況は誠に見るべきものがある予は之れから朝鮮內地に一兩日を費やして農村の狀況を視察しようと思つて居る

◎七日目の取組

（四海波）琴ヶ浦　（稻葉嶽）千葉ヶ崎　（藤の川）朝緑　（梅ノ川）紅葉川　（龍ヶ崎）眞砂石　（玉の川）鶴渡　（釋迦嶽）琴玉子　（大の川）玉手山　（紫雲龍）大鳴門　（兩國）黑瀨川　（源氏山）大蛇潟　（西の海）大戶平

△中入後

（逆鉾）千年川　（宮城山）敷島　（岩木山）稻の穗　（近江富士）土州山　（宇都宮）柏戶　（九州山）鳴戶洋　（小常陸）浦の濱　（栃木山）石山　（對馬洋）伊勢濱　（大錦）太刀山

◎宮崎丸襲る
危く免れて倫敦に向ふ

日本郵船宮崎丸は十七日午後四時佛蘭西ウーション島（英國を距る二十六哩）の北東十一哩の地點を航行中獨逸潛航艇に襲はれしも何等の損傷なく無事倫敦へ向け航行中なる旨日本郵船會社に入電ありたり同船の危機に遭遇せるは之が二度目なり（東京）

◎陳其美の傍杖
那人大矢某外四名重傷

陳其美は刺客の爲めに暗殺せられたる際那人大矢某外四名も刺客の爲めに重傷を被りたる旨其筋に電報ありたり（東京）

◎傳染病は皆無
▽京城の內地人理髮業者

京城本町警察署にては十七日管內居住の內地人理髮業者全員百三十餘名を元黃金町分署跡に召集して健康診斷をなしたるが傳染的の疾患者等皆無にて頗る好成績なりしと

◎追剝は公判に附せらる

山形縣東田川郡餘目村生れ當時京城堅志洞居住の太田元吉（三二）が本年二月二日夜明治町共同便所附近に於て折柄通行中の黃金町二丁目居住の支那人張者倫より現金二十一圓十二錢五厘入りの財布を强奪したる上格鬪中下駄を以て同人の頰つ柱を毆り飛ばし本町署の手に檢擧せられたることは旣報の通りなるが同人は其後京城地方法院に於て豫審取調中なりしが愈よ終結し同法院の公判に附せられたり

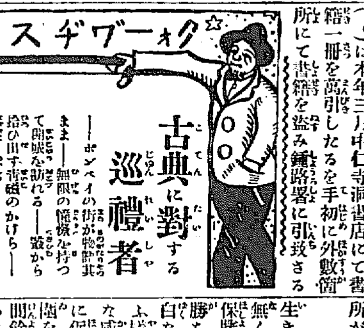
◎鉛管泥棒捕へらる

京城光熙町一丁目綿織職工徐今至（一八）は二十日午前十時頃本町四丁目竹島某方裏手の塀を潛りて瓦斯鉛管二貫五百匁外二點（三圓三十錢）を竊取して逃走中を家人に取押へられ本町署に突出さる

◎書籍を萬引

京城慶雲洞[illegible]哲義（二〇）は本年三月中仁寺洞書店にて書籍一冊を萬引したるを手初に外數箇所にて書籍を盜み鍾路署に引致さる

古典に對する巡禮者



開城滿月臺にて　楚桂

―ポンペイの街が物語る其礎のまゝ―無限の憧憬を持つて開城を訪れる―殷から拾ひ出す瓦碑のかけら―旅人の哀愁をそゝる―

我輩は古典への巡禮者として貴い塵にまみれた往事の袖はらひもあへず時を得ては巡禮を事とする者であるが―ヴエスヴイアスの噴火の灰に埋もれたポンペイの街が物語る其礎の姿して現はれ出た時、

◇全世界の驚異の眼 が一齊に瞬られ放逸の風、淫蕩の俗さては典雅優麗の極致に達した文物の美に恍惚として言ふべき讚辭の選擇に苦しませられた樣に殆ど世界の廢墟と云ふ廢墟、遺跡と云ふ遺跡が發掘される樣な機會があらば總ての人類の限り無き好奇の眼で迎へられるのは當然ではある。飛行機が發明されたりラヂウムが發見されると云ふ事に歸る

◆好奇の眼が人類の行方の一部を物語るものに過ぎ

ての探究的性質であるとすれば埋沒され堙滅させられてゐた未知の人類の過去と未來が相對して愈々濃く强く人類の現在を確固たらしめるものでもある。古典に對する熾烈なノスタルヂアに追はれる樣に無限の憧憬を持つて旅人が昨日今日の開城を訪れると、五百年前旣に五百年間の歷史を持つた文物の精華が榮色の蔦の嫩芽に蓋はれた礎石や斷壁の間から其面影を覗かせてゐるのを發見するであらう

◇開城に遺されて ゐる高麗朝の文明は、謂はゞ滿月臺の礎石の間の叢から拾ひ出される靑磁の破片の樣なものだ。纖細巧緻を極めた釉油の微妙な匂ひは流石二十世紀の技巧と雖も追ひ及び得ない境地にあるが然し乍ら其れは單なる破片なのである。恰も其樣に

◆開城さへ只一區劃が　◆表現してゐる高麗朝の

文化は未だ全く其總體を表現しない彼方に一部、此方に一斑、例へば山の春の礦脈の露頭の樣にさしも隆昌の極致、榮華の絕頂であつた高麗朝の文物の偉大さの聊か宛を物語つてゐるのみである。隨つて其偉大さに對する理解が深ければ深い程遺蹟の價値が高められ深かめられて行く徂春を礎石に纏つた蔦の嫩芽も、塲所が塲所丈けに

◇滅び行くもの と生き行くものとの兩極の對照が限り無く旅人の哀愁をそゝる。保勝會の保勝的設備はよく此種の遺蹟にあり勝ちな、例へば苔蒸した塔や碑を純白な花崗岩の切石で圍んで鐵柵を結ふ樣な、其樣な事の無いのには非常な感謝を捧げなければなるまい最近に保勝會は滿月臺上殿樓の礎石の周圍を發掘したが其深い處では聽て一間餘も蓋はれた土砂を取除けた、爲めに

◆敷瓦に敷かれたスレート質の敷瓦を見出した、一尺に

二尺位の長方形に斫られたスレートが整然と敷かれて礎石の外側を成してゐるのが思ひ爲しか敷石に接した土壤の楮黑く燒け焦げて祀りし昔の王城灰燼の狀など彷彿する。スレートは靑石と稱せられて開城邑の附近數里の山から盛んに斫り出されて今も尙靑石洞など云ふ地名さへ存してる程である。今日尙盛んに斫り出されて人蔘苗圃の圍ゐになど用ひられてゐるのを見れば寧ろ今日に比して利用が廣く且巧みであつたとも言へる（つゞき）

大英百科全書の購買者中朝鮮に關係ある人は先づ昌德宮若宮殿下を始め李王職圖書館、總督府、釜山中學、朝鮮ホテル、東洋合同金鑛會社等である▲釜山の愛書家は二十一日松濤庵で眼繡兒の鳴合會を試みた、大關は南濱の新納氏のもの、由來南鮮には內地と同じ眼繡兒が居るといふ▲大正四年の朝鮮鑛產額は一千五十萬圓、就中金が最上位に居る▲咸北の淸津港から羅南の師團常設地まで來年から從來の手押トロツクを廢し貨物の汽車が驅るべしと▲京城局の取扱電報は京城下關線が最も多く一日平均一千三百六通、次ぎは大阪線の一千二百六十四通、第三位は奉天線の一千二百十一通である

■東京大相撲夏場所星取表
（表中○勝●負×分△預ヤ休）

東の方

力士	成績
西の海	○○○○○
大錦	○●○○○
對馬洋	○○○●○
栃木山	○ヤ○○●
兩國	○○●●○
九州山	●●○○●
源氏山	ヤヤヤヤヤ
宇都宮	○ヤ●●○
釋迦嶽	○●●●●
紫雲龍	ヤヤヤヤヤ
小常陸	●○○●○
近江富士	●●●●●
岩木山	●●△●●
大の川	○○●●●
宮城山	●×●●●
梅ノ川	○●●●●
朝緑	×●●●●
稻葉嶽	●●●△●
四海波	○●×●×
龍ヶ崎	●●○○●
玉の川	●○○●△
逆鉾	●●○○○
綾川	ヤヤヤヤ●
勝星	三十九
負星	五十三

西の方

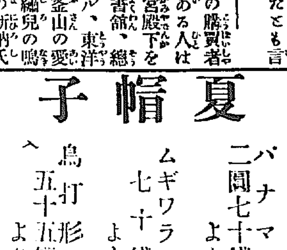
力士	成績
鳳	ヤヤヤヤヤ
太刀山	○○○○○
伊勢濱	●●ヤ●○
大蛇潟	●○○○●
浦の濱	●○△○●
石山	○●●●●
大鳴門	●●○○○
玉手山	●●○●●
八甲山	ヤヤ○●●
鳴戶洋	●×●●●
鶴渡	●○○●○
大戶平	○○○△●
黑瀨川	○○●●●
琴玉子	○●●●○
眞砂石	○○○○○
千年川	●○○○○
土州山	●○○●△
稻の穗	×●○●×
紅葉川	○○●●●
明石	ヤヤヤヤヤ
柏戶	○○×○○
敷島	○●●○○
朝潮	ヤヤ○○○
勝星	五十三
負星	三十九

五月廿五日より五日間
夏物大賣出
外と見ゆる夏物
よき物澤山
京城本町二丁目
末永呉服店
電話長[illegible]番

价川輕便鐵道
列車時間表

价川發	前六、〇〇	九、〇五	後十二、〇五	二、四〇
新安州著	前七、五五	十一、〇五	後二、〇〇	四、三四
新安州發	前九、一〇	後十二、二〇	後二、四五	五、三〇
价川著	前十一、〇三	後二、一二	四、三七	七、二八

夏帽子
パナマ 二圓七十錢より
ムギワラ 七十錢より
鳥打形へ 五十五錢より



東京 塚谷出張店
京城本町一丁目 電話一三六番 振替京城二九三番

鉛鑛買入開始
▲從來金、銀、銅、亞鉛、重石鑛等買鑛致居候處本月ヨリ更ニ鉛鑛買入開始仕候ニ付鑛量ノ多少ニ不拘續々御送鑛ノ程希望仕候
▲前記鉛鑛中含有ノ金銀ニ對シテハ相當ノ代金御支拂可申候
▲目下選鑛場建設中ニ付之カ竣工次第鉛ノ精鑛モ御引受可申候
大正五年五月
久原鑛業株式會社 鎭南浦製錬所

運動具は京城シノサキに有り
カタログ進呈

京城本町二丁目
篠崎運動具店

◎喰詰めて無錢飲食 本月二十一日午後六時頃京城南大門通一…り五月十五日京城に流れ來りたりたる無一文の事とて每夜市中を徘徊し…（三四）京城樂仁洞居代書人金鎭容（三四）…が共謀し…錢五百六十餘圓を業務…統八戶李源在は其所有水田內に婦人…り殺害…に附したり

一體は府へ

予、稻坂秀一、石井勝之助…

晴後曇り

日出 五時十九分　日入 七時四十二分

花この頃
△夏らしい花▽ △のかず〳〵▽

□朝鮮の澤に茂る此の黄金菖蒲を御覧下さい、すつきりした青い水々しい葉に黄色な夏らしい可愛い花を御覧下さい、生花になさる一把は先づ十五錢位ゐかいたいて居ります

□お隣はゆかりの色の杜若、これも一活十五錢位ゐです、紅い宮さしい大和撫子は今朝釜山から參りました撫子はこれが走りでございます

□芍藥も牡丹も頃日がまた花盛り、檉柳は昨年一昨年頃より品も澤山揃ひまた値段もお廉くなりました

□夕暮に咲いた夢のやうな此の矢車草の可愛らしさを見て下さい、此花が優しい温しい娘なればお隣りの除蟲菊は少しお俠のやうに見ゐますね

□夏菊の走りも出て來ました、登り藤、黄い野いばら、爲にしだの花も御覧下さい、此の縞蘆も夏の氣分に滿ち充ちて居ます

□藤は北門あたりから參りますが白い鐵砲百合も可愛らしいものです、リー、オブ、ザ、バレーの鈴蘭ですか、ハイ、これも田舍から參ります(本町二丁目中村花屋談)

●色彩の華やかな 朝鮮の婦人服
回仕立方が氣候風土に適つて居ります

○朝鮮婦人の著物は防寒の御用意は素より氣候風土に適つた仕立方のやうに思ひます

○朝鮮に居られる内地人の奥様方でよく御病氣に罹られる方の多いのは或は冬の寒さの爲めでは無からうかと思ひます

○それに朝鮮の著物は色彩が大變引き立つて見られます、あの萌黄の上衣に紫色の裳をつけた朝鮮婦人の姿はどんな場所にも大層引き立つて見ゐます

○前にこちらに居られた安東憲兵總督はよく「朝鮮の婦人服は世界一だ」と申されました

○假令世界一でなくともあの美しい色彩は昌徳宮のやうな美しい宮殿内を背景としてもまたさつぱりとした徳壽宮内の西洋館内にても、どちらにもよく配合して見ゐるやうに存じます(岡田喜代子夫人談)

米國では日本キモノの大流行
▼色は銀、紅、うす桃色等が悦ばれる▲

◇現今米國の婦人たちには日本の著物が大流行で交際社界の貴婦人は素より時流を趁ふ女優または一般の婦人たちも狂氣のやうに日本キモノを求めて居ます

◇現に紐育第一の百貨店、ワナメイカー商店などにも新館の窓飾りに美しい日本の衣裳を飾り付け紐育の富豪通りといはれた第五街でも日本のキモノが飾られてあります

◇その他市俄古の美しい湖に面した目抜の場所にも日本キモノが人目を惹き猶ほボストン、費府、聖府を始め大小の都會一として日本の衣裳を見ない處とてはありません

◇日本キモノが始めて米國へ輸出されましたのは今から凡そ十五六年以前のことで、當時偶々米國のある觀光客が徳川時代大奥のキモノで金絲銀絲刺繍入りの模樣付きを買ひ求めてから俄かに米國婦人の好奇心を惹き起しました

◇大隈伯はある米人に日本服よりも支那服は如何と問はれましたところ否々とても日本服のやうに打ちくつろいだ柔かな著心地よきものはありませんと申しました

◇輸出衣裳は先づ著物とガウン(寢卷)とジヤケツト(半寢卷)チヨツキ類の他にテープといふ羽織のやうなものからマンダリンといふ支那服のやうなものもあります

◇生地は主に羽二重、琥珀、繻子、縮緬等で何れも美しい刺繍をほどこしてあります、兎に角單に絹織物ばかりでなく絹製衣裳として輸出するとは何よりのことゝ申さねばなりません(貿易商習川清氏談)

□散歩家列傳(五) めちや吉

E君 同じ軌道を同じ時間に同じ方向に動く汽車のそれの如く、同じ時同じ場所に同じ顔をみせるこの人は摘りでなければならぬ。散先生の命維れ從ふ精神から、苦しいのを我慢して、一町動いては立止り半町動いては又立止り、軒先きの玄米乳の函を珍し相に視凝つたり、面白くもない鳶鵝を見上げたりして、與狂ひ易い五臓六腑の整理に戰々兢々として動いてゐる。

●正熙さんの追悼會
◇和田夫人の追懐談◇ ◇藤棚のしたでお茶◇

徳米倉町鈴木局長のお宅では廿日の午前十時から先年亡くなられた坊ちやん正熙さんの追悼會が催されました、集つた婦人方は十七八人先づ石塚、國分長官夫人から村田課長夫人、森安博士夫人、有賀夫人、和田ドクトル夫人、篠山夫人、深尾夫人などの方々もお集りになり井口牧師のおはなしや和田夫人の追懐談等が語られました、坊ちやんは一昨年の五月廿二日に猩紅熱で逝くなられた相ですがそのあどけない物語りに鈴木夫人は泣いて居られました、午後一時頃一同のお客様は美しいお庭の藤棚の下でお茶のみ三四時頃それ〴〵お暇なさいました

●高女生の南山登 京城高女

女學校にては二十三日の記念日に職員生徒一同打ちそろつて午前九時半から南山の山登りを致しました、歸りは以甞つたひに奬忠壇に出でお茶菓をたべて午後一時頃學校にかへりました、猶ほ午後からは同校卒業生の同窓會が催されました

婦人界消息

△白井少將夫人(大邱第四十旅團長) 大邱朝鮮民報の視察團に加はり廿一日馬山から鎭海方面へ赴かれました

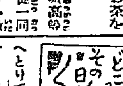
△中山夫人(大邱覆審法院長) 同上

△郡山筑子夫人(會計課長夫人) 靜養の爲め郡君同道にて二十三日夜歸省

番茶のあと

このごろ戰地にある英國軍は、何れも赤いリボンをおそれて居ます、それはこれまで紅いリボンをつけた人が、そろひもそろつて負傷するとか戰死しますので、赤いリボンは死神のやうに忌はれて居るさうです▲日頃犬すきな長谷川町井口牧師のお宅には警務總監部に居るやうな探偵犬の一種が飼てありますが、牧師は昨日こんなことを云はれました日本では探偵犬は警察にばかり使はれてあるが外國では大概な個人の探偵犬使用者があります、京城のやうに小盜神の多いところは私設犬探偵がよい思ひ付きかも知れませんと

だいどころ その日〳〵



回酢章魚 生章魚をよく水にて洗ひ、足を一本づゝ切て、鍋へ酢一合に醤油勺を入れ、此の中へ章魚を入れてよく煮こみ、之を薄くきり皿へとりて二杯酢をかけわさびを添へて侑めます

神社と教會とお寺

▲曹洞宗別院(若草町) 二十四日午後二時から大なる開祖式法要があります、當日は大本山から來られた祥雲晩成師、北井淳義師を始め京城、龍山、元山、釜山、清州、晉原等の各布教師も參列されます、猶ほ大間答修行了つて説教御供養もあります

▲西本願寺(永樂町) 廿八日午後二時滿洲各地布教中なりし文學博士前田慧雲師が參られます、廿九日午後二時からは婦人會總會、同午後八時からは男信徒の双行會が催します

―△會いろ〳〵▽―

△海軍記念祝賀會 廿七日南山東本願寺にて開催、高橋武官の歐洲戰亂に關する軍事講話あり、會費五十錢希望者は廿五日までに申込まれたしと

△同窓會下相談會 南大門女子技藝學校にては來る六月下旬同窓會開催につき廿四日午後二時より京城在住卒業生の下準備會を開催します

△裁縫競技會 南大門女子技藝學校にて二十四日午前八時より午後二時頃までの間に卑衣裁縫の競技會を催します

演藝

▲奈良梅浄瑠璃會 竹本奈良梅は病氣中の處今回全快せるを以て梅露會若衆會連中發起となり二十四、五、六の三日間午後六時より壽館に於て快氣祝ひの浄瑠璃大會を開催すべくその番組左の如し

堀川(一柳)忠臣藏六(一露)野崎村(一文字)酒屋(いきみ)安達三(井筒)中將姫三(梅蕊)千本櫻三(梅里)花の上野四(梅照)太十(日東)伊賀越六(吻若)妹脊山竹盛、とし子)日吉三(都司)伊賀越沼津(大和蝶六、總女房吾掛村(千登)小春治兵衛川庄(陵華)酒屋(玉国お光)梅忠新口村(花月若子)忠五(若千代)吉手屋八(良兵衛)(和鶴)忠四(藤笑)合邦(大さ)鈴ヶ森(花月玉龍)盛綱(多壷木(翼)白石七(れきさ)忠九(筑紫)赤垣出立(清水席國吉)堀坂(富士)白石七(花月小繭)菅原四(篤)合邦(花月鶴助)陣屋(三平)豐竹(三木)御所櫻三(木蝶)阿波鳴門八(京嶺)小春治兵衛たつ(榮月金蝶)日吉三(京月鬼十)酒屋(花月秀奴)玉藻前三(英香)先代萩御殿(小如鶴)菅原四(昭盛)太五(萬遊樓一鄭)芦屋(手川)(清香)加賀見山七(盛山)三味線若賀芳蝶六鐵吉、韻助)

商況

東京株式特電

二十三日	前場寄付	大引
[illegible]	二三六・〇〇	二三五・四〇
[illegible]	一六八・五〇	一六九・〇〇
[illegible]	一四九・〇〇	一四九・九〇
[illegible]	–	–
[illegible]	–	–
[illegible]	–	–
[illegible]	–	–

東京債券現物特電

二十三日川東値段(前日との比較)

[illegible]	–

東京公債直取引特電

二十三日川東値段(前日との比較)

[illegible]	九六・六〇
[illegible]	八二・二〇
[illegible]	八一・四〇
[illegible]	九六・二〇

深川在米特電

二十三日現在高

朝鮮米	九一・三八三
内地米	六八・一九四
[illegible]	二・四四・〇四五
[illegible]	二・四四・〇四五

東京期米特電

	寄付	引
二十三日前場	–	–

大阪期米特電

二十三日前場	五月限	七月限
[illegible]	一四・九一	一四・九一
[illegible]	一四・八五	–

大阪株式特電

二十三日前場 寄付	一三・九八
	一四・五一
	一五・〇五
止め	–

大阪三品特電

	二十三日前場
[illegible]	–

下關期米特電

二十三日前場 各地安き弱氣手防め實に安きも押目利喰ひに下支へ

	當限	中限	先限
五月限	一三・六〇	–	–
六月限	一三・五〇	–	–
七月限	一三・二〇	–	–
八月限	一三・〇〇	–	–
九月限	一三・〇〇	–	–
十月限	–	–	–

朝鮮物産特電

釜山改良大豆	[illegible]
鎭南浦改良大豆	[illegible]
群山改良大豆	[illegible]
木浦改良玄米	[illegible]
同 特改	[illegible]
仁川改良玄米	[illegible]
南浦上白	[illegible]
釜山中白	[illegible]
仁川白	[illegible]

雜報

●藥品は落村 洋藥品市價は…… 大戰に於て我國は前来だ狂熱狀の沈靜商情を脱し得ざる所に於て大に下押したる結果値安物は既に最も下落の甚だしき炭酸ソーダ、ブアーゴール、アセチール、アスピリン等にて一入買進まれ居る

●正米尚上惱み

正米 ものゝ如し然し此等は未だ以て市況の不振を轉換し活動を誘出する程には非ざるが如し斯くて手持筋には現今米國に於ける本品市場の甚だ活況を持續せる結果前途必ず樂觀時代の再來することある可しとて目下時機待ちの風情也

賣惜み念慮薄

は前日の期米高に幾分人氣を刺戟せしと雖も依然移出口の不引合ひなる一面には昨今殆ど賣物なきさいふにあらざるも引續き相當賣物を齎らし殊に今日の賣主に賣惜みなる念慮は最早薄らぎたると共に賣物多きに拘はらず成行き賣を敢行するの場合多きに至り折柄とて昨今兩日の市況は單に持合中の強含みといふに過ぎず兎に角近來正米の成行きは期米の上足に附隨する事のみならず一旦期米の持合ひさなるに於ては又却つて下足を追ふ事多し

正米は此間ヂリ々

下押し歩調を辿る

漸次賣急

今後持米主の漸次賣急ぎ來る傾向ありといへり其他漸次賣急ぎの傾向ありて例へば期米の突飛する事あるも叶はずして跡を斷たざる限り正米の持米にして依然遲足を脱せざるべしとの觀測多し

●製粉の眼先

製粉眼先の面にあり わきは甚だ面白からざる形勢にあり兎に角内地市場にては月謝り以後にむらは愈々新物と同船迄迄下落すべしとの見込み多きが如く且つ古粉は大體に於て來月は手持品の投出し必然行はるべき豫測なりさいへり何れにしても目粉は概より日清製粉の如き來月中に品切れ際の案じ全然否認せられある際とて市況は日々に低落の一方に傾きつゝありて大勢上騰け難き成行きにあるものゝ如し

●紛米好氣配

正米に紛米は相場も相變らず好況にて相場も相變らず許多の注文益々好況にて相場も相變らず上押し一方なり

上押し一方

二十五十錢位ゐにて常に商况を勝なり

●鹽鯖近々入荷

一時人荷途切れとなりし釜山鹽鯖も最近約千尾の漁獲ありしやにて其内釜山地方に廻送すべき報あれば一兩日中には到着すべく氣配は品切れ模樣

多少好人氣なり

行賀仲買店

仁川港町一丁目 電話 一四〇・二二三 二九二

●煎子は氣丈

煎子は昨今の天候の薄弱なると新物は適日米の出廻り遲延の模樣にて不良なりし爲め出廻り引續き底強き成行きなれば、更に下向上物の十三圓見當を唱へられつゝあり

●罐詰筍漸次出廻

本品は大罐小罐共に漸次入荷を見つゝあり本年は材料筍の低廉なりし爲め中味の詰込み充分なるも鐵葉高の影響にて容器罐材の粗雜となり居れり價格は前輸送中商痛みの多きには困り居れり

●精米持合ひ

京城各精米所共賣盤を切詰め賣腰を緩めつゝあるも依然精米所の賣崩し甚だしく地米の不引なる爲め賣れ行きの鈍りたる結果市況は活氣なく前況を持合ひの姿なり

最低十三圓一杯

下關相場

▲朝鮮白米は同樣 前場後場廻り一般にて依然賣物は少なく市況は不振、小山米は好況なるも當地は不況、米主賣り急がず雖も昨今の崩れたるに不引合にて商況は前日同樣なり

▲大豆は矢張底強し 其後期に於て既に賣進む相場買進み前場及び前桝産地の相場入荷は未だ不況、各手持筋の氣張り居るため弗々出來値は前週同樣なるも矢張底強き同樣なり

▲小豆は滿商内 本品は依然小出市況にあり

近り各地市況殆ど外なるを以て前場の賣行き一方に過ぎざりしも柑橘の好況なるを得ず、出來値々殘りの出來直は前場同樣

京城正米

前日の午後は午前中に比し稍々氣持ちたるも相場な引緩むる程の氣勢もなく單に人氣の強含みといふに過ぎざりし今朝も依然同樣にて賣物は稍引納き相當にあり京畿總地方とは稍々引合氣ぬるに至りし風情なきにあらざるも絶對に不賣邊といふが如き事情に逆し居らざるが如し

仁川米豆取引所仲買人 日仲買店

まるみや 支配人 土居勝 電話二八三番

京城雜穀

小豆は裸の九割見當にて持合ひの雖も手堅く大豆は産地先高品見越の爲めに賣物は少なく相場は仲々惱みの姿なり唱へは中品にて七圓五十錢見當なりしも其後一向に伸びず甚だ荷捌とあり大豆は賣盡せりの一面買人も高値見送りに品の折柄見らるべき商内行はれず其他の品も總て大同小異の成行きにて何となく活氣乏しき市況なり

南大門の廻穀

平澤玄米	三三八叺	鳥山玄米二三三叺
平澤玄米	二〇三叺	鳥山玄米二三三叺
成歡白米	一七〇叺	平澤白米二五叺
成歡玄米	一七〇叺	水原白米七四叺
成歡白米	三六叺	水原白米五九叺
平澤玄米	五四叺	南浦糯四〇叺
鳥山白米	二四叺	小井里白米二六叺
鳥山白米	二一叺	天安白米六七叺
鳥山白米	七一叺	鳥山玄米二五叺
鳥山白米	一三一叺	

仁川現物市場

△糯入津なし氣配前日同樣 △正米入津なし氣配依然保合 △大豆入津なし氣配保合

釜山穀物市場 廿二日

△正米(弱保合) 賣り物は依然として雨期を眼前に控へたる折柄なれば賣り急ぎの傾向なれども何等米主側の買人なき爲め期米口の必需用の外は本邦期米の外品に拘はらず精米口の弱品に買人なき爲め底賣鈍弱保合の相場安なれども先づ入錢

△大豆 相變らず寄り物少なく氣配も變りたることなく保合の商狀なり

總出來高	一千六百十一個
玄米	千五百十二個
大豆	九十九個

生魚市場

本日の入品中釜山の鯖鰯丸も目立ち鯛及群山統營物にて何成りの數に上り其他元山の鰤、川の鯛鯉及各地の雜魚を合せて夥しき漁荷は多かりしも鯖鰯の入荷前日に比し安値の小安なりし外概して持合の姿なり

仁川期米

二十三日前場 阪大

前場寄付十五圓〇五錢安の入電にて當地當限中出來不申先限十二圓二十九錢と三錢安に寄付たるも賣物多く安りし六錢と返したるも依然賣物多く再び三錢と押し五錢と返して四錢と不勢の散會

▲二十三日前場 前場先限(一)十二圓二十九錢八錢九錢八錢七錢六錢五錢四錢……(大引)二十二圓二十六錢……

不勢の散會

市場零聞

▲前場下這ひ 昨後場の

●後れ馳せ利喰賣多く

前場寄付は大阪の續て不勢の入電にて二十九錢と付けたるより先限十二圓二十九錢と付たるも賣物續出し……六錢と返したるも依然賣物多し……

▲依然賣物薄

今前場の場面は依然賣物薄く……

見送り軟派は未だ

▲押目か否乎

硬派は目先小天

▲前場利喰押し

▲期米前途觀

憂慮最早旱害

豊富に存外圍米

大上鞘を買ひ

尚一段の高値

上鞘は寧ろ當然

一圓以上

先高を理想に

日々の市場に顯出

仁川米豆取引所

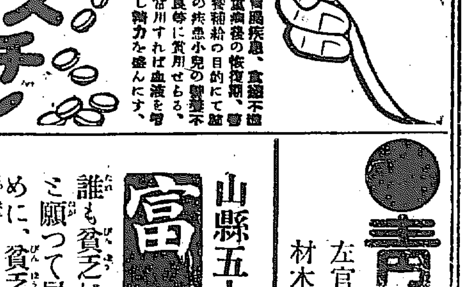
二十三日の七月限

前場	寄付	止め	高値	安値	出來
	十二圓二十九錢	十二圓二十四錢	十二圓三十錢	十二圓二十九錢	四萬八千七百石

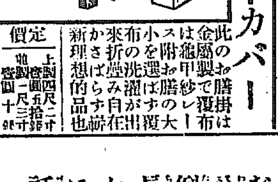
平均値段	
一節	十二圓二十九錢
二節	十二圓二十六錢
三節	十二圓二十六錢
四節	十二圓二十四錢
五節	十二圓二十四錢

賣買取組高

		前日と較比
五月限	四千六百石	二安
六月限	四千三百石	七安
七月限	二萬五千七百五十石	三安
二十二日後場		五安

胃腸最新藥 本六 歐米十三ヶ國專賣特許
チゲスチン


胃腸疾患、食慾不振、重病後の恢復期、營養補給の目的にて諸の疾患小兒の腳氣等に常用せらる、常用すれば血液を增し體力を盛んにす
●說明書進呈 東京本町 合資會社 圓城商會

特許 衛生食卓カバー

此は金屬製で覆掛膳のおスは附屬甲紗レ布小を選ばす膳の大來折の洗濯が自在か、さばらず出來新理想的品也
定價 上製四尺二寸 中製三尺五寸
送料內地壹個八錢 領土卅錢
○有名なる食器食料品店吳服店家具店雜貨店等にあり
發賣元 東京銀座尾張町 玉屋洋品店 電話新橋三〇七番 振替三二〇六
○特約販賣希望の方は御相談に應ず

社員拾名募集(日鮮人)
平壤本町六番地 明治公債出張所

タングステン
用手廻搗精機及大マグネツト中根式鐵山機械は始政五週年記念物産共進會に於て賞牌一褒狀三を授與され朝鮮唯一の光榮を得たる最初の受賞者なり
京城南大門通五ノ一〇 中根商會 電話一〇四番

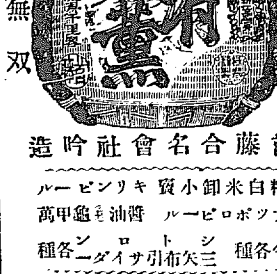
◎開業御披露
桃は氣まゝに山吹も見てはぬ中に春は過ぎて一面の青葉と成りて……（開業御挨拶文）
追而營業致候間御引立の程願上候
龍山元町二丁目旭橋通
會席料理 あら玉
仕出し
店主 大走藤一 電話三八番
藝妓仲居一同
四方御客樣

青竹 直輸入大販賣
左官材料 材木問屋 釜山材木町一丁目 島末商店 電話三五四番

富の道しるべ
山縣五十雄氏 村上唯吉氏合著
誰も貧乏は厭で、安樂有福な暮しを爲たいと願つて居るのですが、暮し方の下手な爲めに、貧乏で苦んで居る人が澤山あります此本には如何すれば金を溜めて、樂な身になる事が出來るかといふ事を、誰にもよく分るやうに易しく面白く書いてあります、例へば、乞食のやうな貧乏な女が百萬圓の長者になつた話もあり、五十歳の水呑百姓か引續く不幸の爲め食ふや、食はずの憂目に落ちたに拘らず、後には樂な身になつた話もあります。
一册の代價は僅に十五錢、送料は二錢。雜誌一册の値段ですから捨てたと思つて、買つて讀んで御覧なさい、成程と御悟りになつて、大きな徳をなさる事は請合です。
▲一手販賣 京城日報社代理部

萬年筆付 グラス萬年筆
朝鮮總代理店(目録進呈) 京城本町二丁目 釘本藤次郎本店
特約店 京城本町二丁目 町田商店 電話四五〇・二七四 振替京城二三五六

貯蓄預金 元金百圓ニ付日歩壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番・五八〇番 振替貯金口座京城八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

無双醇良清酒


品質無双 無害衛生
首藤合名會社吟造
精白米御小賣 キリンビール 各種サイダー 三ツ矢 平野水 サッポロビール 醬油 龜甲萬
朝鮮發賣元 首藤京城支店 黃金町 (電話一一七一番)

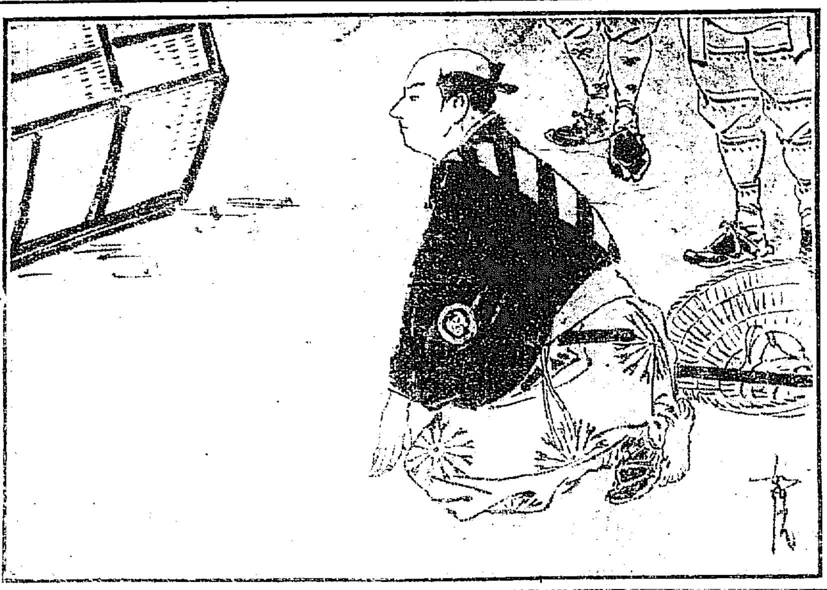
內科 小兒科 入院隨意
京城明治町(元善隣學校跡)
中島醫院 院長 中島貞信 電話三七八番

宮本武藏

第四十七回

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

武藏は仰向いて 武「近藤氏暫らくで有りますな」七左衛門は見ると劍術の御師匠様だ、それから直ぐ馬から飛下りて 奉「誠にどうも失禮をいたしました」武藏先生とは存せぬことゝは申しながら鞭を持つて師匠を打ちました 武「イヤ御案内がないから御尤とも、御城下へ參ると不都合な事がありますから、何うか見ぬ振りをして御通し下さるやうに 七「イヤ豫て主人から然う申しました、宮本から一人の者が參つて名前を聞いて來て宮本武藏先生と云ふ 半「それはく七左衛門に是へ伴つて來るやうに申せ」そこで七左衛門は宮本を同道して御駕籠の傍へ來て御機嫌を伺ふと 半「誠に宮本、久々にて定めし是まで艱難辛苦したであらう、シテ江戸表に於て三人を殺して出立致して以來逢はなんだが、先づ城内へ參つて宜しからう 武「段々御案内の通り岸柳の件に就きまして何分城内に



遠留いたしましては不都合でござりますから何うか御免を蒙りたうござります 半「イヤ逗留いたせ逗留致させねば主君に不忠だ」見當つた限りは連れて行かんければならぬ」然う言はれて見れば宮本振拂つて行く譯にも往かない 武「其ではお供をいたします」そこで宮本を城内へ連れて參つて、入湯をさせ髮も梳づりをいたしまして衣服上下を借用いたし、禮服を相成つて殿様の御前へ出る、森大内記殿殊の外お喜こびで知己の者を呼べと仰つしやる、不破伴左衛門

を見當り次第に城内へ案内するやうにと仰つしやつてござりました見ぬ振りしてお通し申す事は出來ませぬから城内へ御立寄を願ひたい、先づ風體をお直し下さるやう 武「拙者は浪人貴公は城内の町奉行、粗惡からうが別に直しやうはない 七「それでも貴方は笠を被つて居らしやるから、其をお取り下さい」と言つて居る所へ向ふから「下にく」といつて來る人がある、是は森半右衛門と云ふ殿様御同家のお方 半「コレく彼所に下座をして居るのは町奉行の七左衛門ではないか ○「御意にござります 半「其の側に浪人體の者が居るではないか ○「左様 半「町奉行と並んで浪人體の者が話しをして居るやうだから行つて調べて來い」それ

名古屋山三郎高木右馬之助の三勇士並に宇土野宇右衛門等をお召しになつて早朝から御酒が始まる、さて江戸表を出立して以來是までの話しを宮本が申上げる、殿様お聞き遊ばして御滿悦になる、偖てお話變つて此方は伴兵藏、柏木半助の兩人は雜房先生に厚く禮を言つて誠に有難うござります危い所を脱れました、それに就きまして雜房先生には何地へ居らつしやる 雜「イヤ私しは何處へ行くといふ目的はありませぬ、此所に此らいふ先生名人があるといへば、其を尋ねて往つて藝道修業致す積り……伴「それなら何うか城内へお出でを願ひたうござります。主人は誠に劍術熱心でござりますから……雜「委細承知いたした」とそこで伴兵藏、柏木伴助の兩人が雜房先生を連れて來る、この時に兩人が 兩人「先生昨既のことは斯様申しては如何でせう、昨年我々が京大阪を見物いたしました、其節に御懇意になつた積りに致しますから……雜「ヘイ宜しうござります」そこで二人は雜房を伴つて我家へ留置き、翌朝御前へ出ると御酒が初まつて居る、殿様は聲を掛けられて 殿「是れ伴藏、宜い所へ參つた、其方は醫者であるから此所に居る宮本を知るまい、豫て高名の宮本武藏は是だ、ア、武藏是は伴兵藏と云ふ者で……伴兵藏は居合の指南をいたして居ります、是は大變なことが出來た、前夜の中に立つたと思つたが、何んで此處に居るか解らない、昨晩の……心配して居る、武藏先生は知らないなんて此處でやられちやア大變だと思ひますから知らぬ振りをして挨拶をして居ります 伴「吉岡又三郎雜房と申す者が捕者を尋ねて參りましてござります、此段御届を仕ります 殿「ナニ吉岡雜房が參つたと何う云ふ譯で其方許へ參つた 伴「前年大阪へ參つた節、懇意を結びましてございますから 殿「左様か、早速雜房を是へ同道いたすやう」

婦人科 產科 二宮醫院 京城壽町四一 醫學士 二宮亮吉 電話一三一番

耳鼻咽喉科醫院 伊藤 京城本町三丁目(壽座南隣) 電話二三七七番 醫學士 伊藤應隆

五月廿五日九星 舊四月廿四日壬戌 木命八白 艮取 先負

正誤 大正五年五月廿一日、廿二日京城日報夕刊京城府告示第十號中「大正三年四月一日」ノ下「京城府告示第三號ヲ脱ス」第二條第一項ノ下「龍山ノ」活弧ヲ脱ス
大正五年五月廿二日 京城府

演藝案内

櫻井町 大正館 電話八七三

新派悲劇 五月鯉

東町 御成座 電話二一九一 市川海老松 阪東◯◯一座
廿四日 大久保武藏の鑑 一心太助の傳 五冊
廿四日 前狂言 御所櫻堀川夜討 切狂言

黄金町四丁目 黄金館 電話二六三七

明治町 浪花館 電話二六〇番

本町 壽座 電話五七八
五月二十四日より 新派 夜光の玉 喜劇 忠臣藏 午後六時開幕

こゑる藥 身體やせて種々療養効なくお困りの方て郵券三錢封入申込まれ胃腸を健全にして害なく身體肥大となる妙藥の説明書呈 ○東京市麻布區三河臺町 小川藥院

卷莨 大美代 富士商會 大邱電話五〇六番

最新高等かぜねつ良劑 キナピリン 本舗 大阪市

滿蒙處分論

治ッタ!! 多年困つた眼病も 大學目藥 を点眼して立派に 治ッタ!!

國產 口臭 毒 防 劑 後藤デシン

御園白粉
御婦人方の中に何の白粉を塗けても、ノリが惡いとかノビが惡いとか、又は用つて居ると不知くの間に皮膚が荒れて困ると仰る方がありますならば、今から御園白粉をお用ひ遊ばせ。
數ある白粉中御園白粉ばかりはノリ、ノビ共によく、皮膚を養ひ肌理を細かに滑かにする獨特の効能がありますから、其お化粧振りは何處迄も高尚に然かもお顔の色艶を美しく見せます。
製造本舗 伊東胡蝶園 發賣元 丸見屋商店

信用厚き ニキビ吹出物藥 にきびとり 美顔水 完全なる皮膚藥液 完全なる美容藥液
醫學上藥學上の完全品として有名なる本藥は、學者の研究彌々加はりて効顯益々的確に、内用外用、幾多の類藥中にありて、世の信用嶄然高きを致せり。
●尚本藥は其含有藥に依り、常用して皮膚の荒を去り、肌理を美くする著しき作用あり。
▲新美容素を完成したる 桃谷研究試驗部 顧問 丹波藥學博士 山本醫學博士 主任 桃谷藥學士 小磯藥學士 齋藤藥學士
定價 壹號大瓶 五拾錢 中瓶 二十五錢 小瓶 十二錢
本家 桃谷政次郎

京城日報
第二版
廿四日朝刊（夕刊と合せて八頁）
發行所 京城日報社 太平通一丁目
印刷人 小川三之介

大阪期米特電（廿三日）
▲後場 當限寄付十四圓〆六錢止め三錢△中限寄付十四圓五十九錢止め五十八錢△先限寄付十五圓十三錢止め六十一錢

仁川米豆取引所
[illegible]

▲現物界 [illegible]

京城日報
獨逸の產業動員

歐洲戰亂の勃發以來、獨逸は四面敵國に包圍せられ、殊に其海上權は殆んど完全に英國の封鎖する所となれるが故に、獨逸が經濟上蒙りつゝある苦痛は、甚大なるものあるべく、或は獨逸帝國を舉りて今や脈絡窮迫の境遇にありと目せらる。然かも獨逸は、此戰爭に依て得たる幾多の教訓を、直ちに各方面に利用して、將に新たなる經濟生活に入らむとす。所謂獨逸の產業的動員とは、戰爭の苦き經驗を善用して、平和克復後直ちに世界の市場に進出し、激烈なる經濟戰に備へむとするを意味するに外ならざる也。

英國に依りて海上を封鎖せられし爲め、獨逸の貿易は全く杜絕し、戰前の供給を仰ぎたりし必需品に至るまで、自國內に製出するの已むなきに至り、從て獨逸は人智の限りを盡して產業自給の方法を講じ、其の効果は驚くべきものあり。彼の硝酸工業に於ける成功の如きは、以て之を證する適例と謂ふべし。戰爭以來獨逸の最も苦みたるは食料供給の不如意にありき。之を他國に求むるは、殆ど不可能なりしが故に、獨逸は自國の農業を一層集約的に發達せしめ麥の一粒たりとも增殖を圖りて已まざりき。然れども土地の利用は自ら制限ありて、穀物の增產を計らんとせば、從つて肥料の使用は大ならざるを得ず。從前南米智利より需めたりし硝石は既に其の貯藏品を消費し盡し、新たに之を輸入せんとするも能はず。肥料の缺乏は食料問題と關聯して實に獨逸にとり死活問題となれり。然るに數年前諸國に於て、空氣中より窒素を採收し得る方法の案出せられ、既に同國の工場は實用的に之れが生產を營み居れる先例に徵し、化學者の熱心なる研究の末、遂に獨逸に於ても亦之と同樣なる方法を案出し、直ちに一大工場を建設して窒素肥料の生產を營むを得たり。其の工場は年に六千六百萬封度の窒素を製出し得べしと云ふ。之が爲め獨逸は今や硝石を智利に求むる必要なきに至れり。又石油供給の杜絕により、獨逸の瓦斯工業は長足の進步をなし、其の副產物たるテニリン染料は、列國が其の不足に困みつゝあるに反して、獨逸にては殆ど生產過剩の有樣也。

獨逸の工業界が現下戰亂にも拘らず、盛心不氣に活動し、或は更に發展せるの一例として、試みに昨一九一五年度に於けるアルグマイネ電氣會社の營業成績を見るに、其の總利益金額千五百四十四萬圓に對して、七千七百五十萬圓の資本に對し、前年よりは寧ろ一分を增率して一割一分の配當をなせり。而かも會社は租稅四十萬圓、賞與金十五萬圓、年金二十五萬圓を分配し、且つ此等の金額は前年に比し增額し居れり。以て其の餘裕綽々たるを知るべき也。而して戰爭開始と同時に、獨逸の工場中擴張新設を行ひしもの多く、今は之が新設機械の如きは各工場共、僅かに假抑を了せりと云ふ。

斯くの如くして獨逸は今や戰後の經濟戰に對して、著々準備を整へつゝあり。一朝平和克復に至らんか、彼は多數の商船を一齊に活動せしめ、豫て準備し置ける工場の能力を發揮し、低廉なる價格と運賃とを以て、戰時中失ひたる世界の市場に、捲土重來、之れが回復を計るに如何なる犧牲をも辭せざるべきは、今日より豫想するに難からず。誠ら聯合國の經濟同盟は、抑も如何にして獨逸の戰後活動に備へむとするか。

三道隨行記
中島生

八、尙州金山

○今を去る二十年前、尙州金山の發見せられて以來內鮮人の試掘出願を爲すもの相踵で生じ、總督府に於ても鑛床調査の結果、此地方一面に鑛脈の存するを確かめたるを以て、大正三年六月に農商工部鑛務課の出張所を此地に開設し、湊技師を所長に任じ、爾來地表探鑛、坑道開掘を行ひ今日に至れり。

○鑛區は尙州郡の東北に位し、約二十七方里即ち全郡の三分一の面積に亙り、金鑛產地を構成する地質は花崗岩及び花崗片麻岩にして、內に金鑛床を胚胎す。鑛脈の走向は概ね北微西を指し、西微南に急斜せり。出張所に於て既に地表探鑛を了したる總鑛脈は約二百條、二十九萬八千尺に達し、就中最有望なる鑛脈は二十二條、其延長七萬三千六百餘尺也。

○出張所の逸に第一探鑛所を、尙州面に第二探鑛所を、洛東面に第三探鑛所を置きて作業を監督せしめ居れるが、現在は既に地表探鑛を了りて坑道探鑛を行ひ、一坑一人乃至二人の坑夫を使用して作業中なり。最近には試精煉所を設立して小規模乍らも一通りの設備は出來たり。

○此の鑛區は朝鮮內他に比を見ざる大延長鑛脈が近距離內に聚まり存在する故、經營の上に甚た便利にして、且今探鑛脈中の有効部分のみにても、品位優良なる鑛石は優に二百萬噸に達するの見込なりと云ふ。其の有望の金山なること推して知るべし。將來大規模の精煉所設置の計畫を立て、其の實現せられ、採鑛に着手するの曉には、尙州附近の殷賑思ふべし。

○此日寺內總督は、初夏とは云へざ照りつくる暑さを厭はず、午食後東坑二百八十八尺の坑道を親しく視察したり。

日本文化の淵源（四）
文學博士 物集高見氏講演要領

僧侶と工藝典儀

元來死人に近づく可からざる僧侶が死人に近づきたがつたり戒名を附けたり引導を渡したり佛前で讀經したり爲る事は今から凡そ六七百年前から考へ出した事で佛教と云ふものは坊さん達が食はれぬ樣になつたから坊さん達が行つて居る樣なものである。決して今の坊さん達の名僧智識と云ふ人達は人類全體の安泰を計つて居た。各個人の肉體を幸福に導く事にのみ心身を勞して居つた、其故に日本の朝廷も其の時代の天皇樣も佛教を大變善良なる敎へとして尊信されたのであつて決して

▽今の樣な佛教に傾信した譯では無かつた前にも述べた通り此の時代の僧侶達は閑さへあれば鍬杖を曳いて世間を巡ぐり道路橋梁を造る事は素より農耕を助ける爲めに馬や牛まで支那朝鮮の方から曳いて來て其の使役法を敎へて呉れるそればかりではない茶、砂糖黍を初め種々の爲めに爲る草木なども移し植ゑて呉れた其の他に納豆も拵へて呉れば饅頭も考へ出してくれた。猶傳へて呉れた酒もさうである上進歩した食料なども多く傳へて呉れた醍醐と云ふ滋味もさうである醍醐は牛羊の乳を煮詰めて酪と爲し更に酪より酥を造り酥から更に醍醐を造る醍醐は

▽天台宗の法要には無くて叶はぬ食料であつて我國では孝德天皇の時に始めて天台の僧侶が造へた其の他金襴とか緞子とか云ふ上等の織物から男や女の顏に白粉を塗つたり紅を注す事までも和尙さんが敎へて呉れたものだ陶器の如きものも行基菩薩が其の拵へ方を敎へて呉れたのであるが其の前まで日本には木で造つた假器より外には無かつた其外、今用ひて居る茶碗なども皆僧侶が敎へたものである斯くの如く此の時代の僧は昔から日本で爲殘した仕事を何彼に付けて造り上げて呉れた又

▽日本の儀式の如きも多くは華嚴宗律宗等の佛式に倣つたものである今述べた所は佛教及び其の僧侶に由つて傳へられた物質上の文明であるが此の時代の僧侶は單に博識多才で有つて日用品の總てを我々に殘して呉れた許りでなく彼等は一面から見ると堂々たる政事家であつた奈良朝時代の政事は皆僧侶の手に依つて行はれた當時の僧は廟堂に在つて治國平天下の道を以て天皇を輔佐し奉つた其の政事は實に立派なもので、國の文化を進め人民の福祉を增進せしむる上に多大の貢獻を爲た最も當時の政事家と云ふものは皆な佛敎徒であつて

▽彼の吉備大臣なども半分は僧侶の如うなものだ吉備大臣は入唐して天文遁甲の術などを學んで來たが主として佛學を修めて來たのは事實である、當時入唐した者は悉く佛學を修め、佛學を修めた者は歸朝後大抵廟堂に列して政事に參與した奈良の元正天皇から光仁天皇迄の間の政事は悉く僧侶に依つて行はれ文官は單に表面に立つて之れを代表して居つたのみで內に在つては僧侶の相談相手の如うなものである之を以て決して佞佛と云ふ事は能きぬ當時の僧侶は其の政事手腕の超凡であつたばかりでなく

▽其の人格も亦高潔無私であつた猶當時の日本建築は上は宮殿から下は臣民の邸宅に至るまで甚だ粗末のものであつて外國人等に見られても國家の體面上宜しくないと云ふ處から瓦を造つて萱葺に代へ壁に白堊を塗り付けて家屋に化粧を施したのも亦僧侶であつた。斯くの如く日本在來の建築上に大革命を與へたのも亦僧侶であつた。當時の僧侶は世界の上下に密接なる交涉を持つて居つた當時の僧侶の生活は如何なる有樣であつたかと云ふに其れは實に素にして苦しいものであつた當時の佛門に入つて僧と爲つた者は一日

▽正午に一食を取るの外は絕對に間食さへも爲なかつた而して其の一食の食事が雞の卵よりも少し小さい位の握飯を一つ食べる許りで有つたが其の勤嚴なる事高潔なる事今の僧侶達に比して實に雲泥霄壤も啻ならざるの差であつた。

京日詩壇

○折梅寄人　望月桂軒
萬玉玲瓏處士家。寒香如水溯窓紗。枝頭愛看石取。[illegible]中開此花。
評曰　清秀質樸

○同上　瀧島翠峰
屋角梅花香放時。[illegible]心醉欲[illegible]折一枝。
評曰　[illegible]

○同上　森下紅[illegible]
飛興忘歸步步遲。吟節十里作[illegible]。君欲借山中[illegible]花一枝。
寒地無花恰[illegible]故人[illegible]。大[illegible]蜀[illegible]香色[illegible]一枝[illegible]。
評曰　[illegible]

○[illegible]　成田[illegible]
[illegible]
評曰　詞句清淸、宛如桂軒其人

日報歌壇

□微光のなか
俗なれや故はあられとかにかくに微光のなかにほゝゑまれ居る

□仙掛園にて
花園の草の匂ひは思ひ出の長き[illegible]より長かりしかな

□
我が影の次第々々に伸びて行く夕さり頃は泣かまほしけれ

□人形の顏
泣きながら歸へり來りし妹の春の人形の顏の淋しき

日報俳壇
雉子郎選

下萌

下萌や獸皮を負ふ市に行く　山民
下萌や擂架作り賣る町外れ　同
何時よりの水無き沼や草萌る　容堂
草萌や田の水鴨す家鴨二羽　同
下萌や野を縱橫に擬戰の子　田打夫
下萌や手織木綿を賣りに來る　青扇
草萌や相撲る鷄を餌に呼ぶ　橙黄子
下萌やあなどり難き兒の力　浦南
草萌や足袋を脱がせる稚兒　鹿中子
下萌やまだ風邪に惱む母　都津無
下萌の地掘れば陽の屆き[illegible]　露風
草萌や土塀の上の物雜多　北星
父母の塚に永く居る民や下萌る　青眼子
倒れ居し鳥居起すや下萌る　可秀
下萌の殘壁踏むにまかせ[illegible]　雉子郎
下萌や萌きを占めて觀測所　同

婦人世界

六月號

顏髮化粧
△白粉は如何なるものを用うべきか…△髮の手入と油の用方は如何にするか…△髮の生際と眉は如何に手入れするか

野菜の生食…村井弦齋

…には如斯効能あり

夫の不品行を訴ふる婦人へ…岸邊福雄

子供の行儀教へ方

離緣になつた三人女の打ち明け話

內親王樣の御平生…元內親王殿下の御侍女 池ケ谷せん子

△御髮は如何なるものを好せ給ふか…△お化粧はお召替は如何に爲し給ふか…△御召物は如何なる柄を好せ給ふか…○婦人雜誌と新聞は何を愛讀し給ふか…△下々の者へも恐入つたお言葉使ひ

五十錢で三人の客を招く獻立

美味しい梅干漬け方

六月の總菜獻立

好評噴々 三大小說
△(家庭小說) 龍卷…渡邊霞亭
△(事實小說) 雪中梅…下田歌子
△(歴史小說) みをつくし…長谷川時雨

嫁と姑の和樂

六月號發行 東京京橋實業之日本社 振替東京三二六番 一冊十七錢 郵一錢 五冊八十五錢 半年一圓廿錢

時局必讀を要する新刊書

尾原亮太郎氏著
新版 新獨逸
菊判一册 正價二圓 送料十二錢
苟も現時に處するの士は共に世界の大勢を明かにせざる可らず…思想家、教育家、實業家、たる人々は…

法學博士 田尻稻次郎先生著
新版 歐洲戰局の將來
菊判一册 一圓五十錢 送料十二錢
今回の戰爭は空前絕後の大亂なり故に財政經濟及社會上に及ぼす影響…

ハンス・デルブリュック著 西村三郎譯
三版 獨逸 興國か滅亡か
四六判一册 正價八十錢 送料六錢
本原書は獨に之を一括して英國に上梓され、洛陽は愚か全世界の紙價を高からしめ…

慶應義塾大學教授 鹿子木員信先生著
再版 永遠の戰
四六判一册 正價五十錢 送料六錢
永遠の戰とは何ぞや共同戰線的一奴隸的一平和の思想に扭傾を擬せしめ…日本國民を向上せしめ努力し健闘に擬えんとするものである。

發兌 東京市神田表神保町二 株式會社 同文館 振替東京第一三五

會員募集
第三回新學期開始
產婆學受驗講義錄（全部完成）
顧問 醫學博士 木下正中 先生 ● 主幹 日本產婆學校講師 伊庭隆博士
六ケ月卒業 內容見本 規則進呈
東京市外巢鴨町 駒込動坂町 日本產婆學講習會

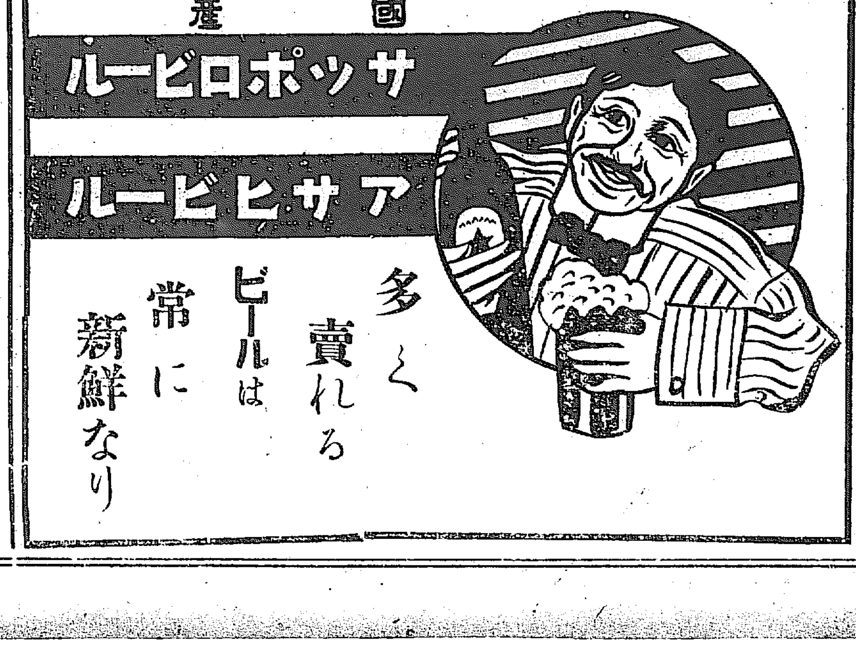
農業世界增刊 實用蠶業
未曾有の活況を呈せる生糸貿易は此機に乘じ一層養蠶業に努力すべき事を教ゆ。本誌は則ち學理と實驗より桑樹栽培に關する一切の事、春蠶及び夏秋蠶の飼育に關する注意を詳述して丁寧親切を極む蠶業關係者必讀の資料なり（五月十五日發行）
定價廿二錢 郵稅六厘
東京本町 博文館

海岡蘭竹譜
上下 上製特價二圓六十錢 二冊 並製特價一圓六十錢
海岡金圭鎭先生の著作にして氏は十年間支那に在て書畫法の蘊蓄を研究し歸るや昌德宮の御用書畫家となり英親王（李王世子）の書法教授として多年奉侍せられ昨年春は李王家より天皇陛下に獻上せられたる蘭竹御屏を揮毫し其進御には閑院宮殿下御買上の光榮を蒙れる朝鮮の蘭竹名家なり本書には蘭竹の葉花及枝幹節葉の寫法を明瞭に說明し揮毫して獨習に供し寺內總督、山縣政務總監及日鮮詩書名家の親筆題詩を揭げたる普通家無二の寶鑑なり

獨學 書法眞訣
全一册 定價八十錢 特價六十錢（向ふ二ケ月間）
海岡先生の著述にして書法の淵源、歷史、變革及篆、隷、楷、行、草の運筆、結構、作字の諸法を簡易に圖解說明し晉唐宋名家の筆訣摘要を加へたる日鮮文の習書寶鑑なり

李少南書帖
上下 上製 實價二圓 二冊 並製實價一圓五十錢
海岡金圭鎭氏の先生たる少南李喜秀氏の晚年親筆篆、隷、行、草、大小字各體を蒐集刻版せる寶帖なり

發行所 京城南大門通一丁目 滙東書館 高裕相 告白
分賣所 京城長谷川町九十六 書畫研究會
京城本町二丁目 大阪屋書店
平壤水玉洞 箕城寫眞館



段國務卿窮地に陷る

段國務卿は南京會議が何うやら袁總統の傀儡とならんず模樣あり從つて自己の政策政略の遂行が愈々不可能と爲るべき窮地に陷りつゝあり之れが苦衷を昵近者に漏らしたりと尚國務院秘書官は袁總統の謄者にして段祺瑞の一擧一動は直ちに袁總統に內通され居る模樣なりと(北京特電)

前廣東都督暗殺說

前廣東都督陳炯明は暗殺されたりとの說あり(北京特電)

英露兩軍活動開始

メソポタミアに於て連絡を通じたる英露兩軍は既に土耳古兵に對して活動を開始せり(桑港電報)

露獨艦隊海戰開始?

瑞典沖に於て砲火盛んに起りつゝあるが之れ多分露獨兩艦隊の間に海戰開始されたるならんと(桑港電報)

佛軍敵陣地占領

ヴエルダン方面の佛軍はミユーズ河の兩岸に於ける敵の陣地を確實に占領せり(桑港電報)

鮮銀の一覽拂手形
愈々實行に決定す

朝鮮銀行にては今回滿洲に一覽拂手形を發行する事に決し近日實行の筈なるが同行は滿洲に對し既に二百餘萬圓の放資を爲し更に支店を設置せる關係上該手形の發行に依り便宜を得る點少なからず過般滯京中の山縣政務總監は政府と交涉の結果二十二日之れが發行の決定を見るに至りたる次第なりと(東京特電)

農務局長訪問

道家農務局長は二十三日午前十一時江木書記官長を首相官邸に訪問し別室に於て河野農相と鼎座凝議する處ありたるが右は東拓事件に關してならんと(東京特電)

電車値上指令

二十三日東京市電車賃値上げ認可の指令ありたり(東京特電)

安東總督東上

安東臺灣總督は二十三日朝神戶著京都に立寄り同夜京都發東上の筈(大阪特電)

滿洲の柞蠶(三)

▲柞蠶の收支 今飼育の單位を一把剪子として之れに對する收支計算左の如し

支出

▲繭種	一〇元〇〇(繭數五千個此單價二錢見當)
▲蓄力費	二五、〇〇
▲企費	六、〇〇
▲害蟲驅除藥	一、一五
▲彈藥	、七〇(一斤)
▲監視料	一、〇〇〇
▲租稅	一、〇〇〇
▲器具費	一、〇〇〇
計	四十五元八十五錢

收入

▲良繭	一〇六元九五(七千五百個)
▲不良繭	一、四八(三千五百個)
▲輪伐新木代	一、〇〇
▲出殼繭	三、五〇(五千個)
計	百十二元九十三錢

以上に據れば一把剪子の面積に於ける飼育の純益は六十七元八錢となる

▲柞蠶繭生產高 東省に於ける柞蠶繭總產額は平年に於て約二十三萬籠(七十六億個)此時價九百八十萬元內外、此內安東附近全體の產額約七萬籠此代金洋三百萬元內外なり今最近三年間に於ける安東の產繭高を擧ぐれば

宣統三年	四三、〇〇〇籠
同四年	四一、〇〇〇
民國元年	三八、〇〇〇
同二年	三五、〇〇〇
同三年	五〇、〇〇〇

(備考)一籠の繭數三萬九千乃至四萬個

柞蠶繭は其市場に至る以前に皆一所に聚り其廣大なる空地に於て屑物を分別し個數を計算し且つ寒中に乾燥し完全殺蛹の後高四尺、徑二尺七寸內外の柳條籠に裝入して堅く蓋を鎖ふて後數量及び所有主の名を記入し輸出の準備を爲す而して輸出港の重要なる者は左の如し

安東、大孤山、大東溝、莊河、青堆子、貔子窩、龍王廟

莊河、岫巖、安東、寬甸、鳳城、通化方面の生產品は主として上記各港より輸出せらる

大連、營口 瀋城、蓋平、熊岳城方面の生產品は主として上記二港より輸出せらる輸出目的地は芝罘を以て主となす而して總產額二十三萬籠の內十分の五は繭の輸出たり

▲柞蠶輸出額 大孤山、莊河、青堆子其他の不開港より輸出せらるゝ數量は調査するを得ざるも其開港場より輸出せらるゝ最近五年間の數量は左の如し(單位擔)

種類		民國元年	民國二年	民國三年
繭	安東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	大連	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	其他(帆船)	[illegible]	[illegible]	[illegible]
絲	安東	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	大連	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	營口	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計		[illegible]	[illegible]	[illegible]
柞蠶絲	烟台	[illegible]	[illegible]	[illegible]

神宮造營醵金

明治神宮の造營に就ては吾朝鮮に於ても廣く寄附金を募集することゝなり既に官吏に對しては月俸額に對して夫々醵出を爲さしむることゝなりたるが右の內京城府にて募集す可きもの約一萬圓の豫定にて內八千圓を銀行會社より殘り二千圓を民間より募集することゝなりたり申込期限は六月末日限にて拂込は本年中なるが其募集方法に就ては京城府に於て目下研究中なるも從來の例により各町總代の手を通ずる事となるべく之が決定せば近く町總代會を開き打合を爲すべしと

客年の造林事業

▲國費造林 大正四年度中に於ける國費造林事業は京畿道に於て前年の施設を繼續し、京城附近の荒廢山野に對して三月より五月に涉り凡そ砂防植栽九十六町步、六十六萬本、普通植栽九十町步、五十四萬本の新植及び四十五萬本の補植を行へるが、其植栽後に於ける成績は槪ね良好にして平均八割七步の活著を示せり又十、十一月の交に於て大正五年春季植栽事業の豫備作業として二十八町步の砂防工事を施行したり

▲地方費造林 地方費の造林事業は各道何れも春季に於て模範林の植栽を行ひ其面積四百八十六町步、百十八萬本に達せり、而して主なる樹種はアカマツ、ニセアカシヤ、クヌギ、クリ、白楊類等にして內人工造林は二百十二町餘、百五萬二千本、補植十萬六千本、天然造林は二百七十三町餘步、二萬四千本なり

▲私營造林 鮮內の私營造林事業は其新植見込面積一萬九千六百餘町步本數約五千八百五十九萬本を算せり而して之が植栽樹種の主なるものはクロマツ、ニセアカシヤ、クヌギ、白楊類、クリ等とす、此他尙ほ天然稚樹保育の造林地尠からざるも統計に徵する能はざるが其禁養面積は造林面積に比し遙かに廣大なること勿論なり

棉花廻著高
移出高二百萬圓

大正四年中に於ける棉花の生產高は四千五百萬六千五百二十一斤にして各繰棉工場への廻著高は千八百三十一萬六千七百三十三斤の多きを占め在來綿は僅に二十萬二千五百七十二斤に過ぎず、而して各繰棉工場に於て是等廻著せる實棉を繰綿と爲し移出せる數量は大正五年四月末日調査に於て六百五十五萬九千九百斤、此價格百九十八萬二千六百六十九圓にして之を大正三年生產棉花の移出數量二百八十六萬六百斤、其價格五十六萬一千六圓に比する時は實に數量に於て十一割以上、價額に於て二十五割以上の激增を示せり

大正水利進捗
七千町步の灌漑

不二興業會社の經營に係る北龍川那府羅面外四面の大平野七千餘町步の灌漑水利事業は昨年より工事に著手したるが本年に入つて俄に盛況を呈し昨今は一日三千乃至四千の人夫を使役し明年九月までに大體の施設を竣る豫定の由而して其の區域は兩端の距離五里餘に及び工費の如き百四十萬圓を超え其の面積と工費に於て實に吾國無比の大水利事業なるが工費は既に東拓金融部より借入れ契約成立せるも目下諸般の手續き中にて現金の授受は未だ終り居らざる趣きなり尙ほ崇利區域七千町步中三千五百町步は不二興業が六十萬圓を投じ昨年までに開墾せし平野にて他の三千五百町步は殆んど全部鮮人の所有に係るが同附近は土質沖積土にして鴨綠江の濁流を引き灌漑する爲め地味肥沃反當り籾七石乃至八石を收穫し得る程なりと

支那苦力と證明

從來支那苦力の浦鹽出稼を爲す者は朝鮮經由の際朝鮮駐劄諸國領事の裏書を求めつゝありたるが今回露國政府は之を改正し途中領事の證明を與ふるが如きは一片の形式に過ぎずして斯くては到底彼等の原籍を確實に知る能はざれば支那駐劄領事の裏書を必要とし若し之れを携帶せざるものは自然朝鮮を經由渡航出來ざる事となれり

新秋刀魚漁場 總督府水產課

總督府水產課にては昨年慶北丑山以北の沿海に對して秋刀魚試驗を施行したるに其結果良好にして到る處漁場を發見したるを以て本年は丑山以南の沿海を探險す可く過般試驗船を派遣したるに二十日方魚津に於て一網六百尾の秋刀魚と百五十尾の鯖を得たる由なり、因に本年は前年の經驗に鑑み秋刀魚流網の下方に鯖網を附したる結果一網に於て二種の魚族を獲たる次第にて朝鮮沿海に於ては秋刀魚と鯖は同一漁場なるのみならず其漁期も亦同一なるを以て此新案流網を使用するに於ては一時に兩種の漁獲を見るべしと

海軍記念日

二十七日は海軍紀念日なるより鎭海灣要港部にては例年の通り記念式を擧げ將校下士卒一堂に會して當年の日本海戰談ある筈なり

山口司令官歸任

山口鎭海要港部司令官は既報の如く鎭海要港部設置の挨拶として二十三日朝入京直に午前中軍司令部、鐵道局、師團司令部を訪問、午後總督府、總務總監部を訪ひ同四時半發歸任せり

隊長招宴

松永京畿道長官は目下隊長會議の爲め入京中なる各憲兵隊長を廿三日午後七時より料亭長春館に招待したるが盛會也き

ホテル內電信取扱

遞信局にては來る五月二十一日より朝鮮ホテル內に電信取扱所を設置し午前八時より午後十時まで和歐兩文電報の取扱を開始する由なるが著信は同ホテルを宛所とし又は取扱所留の指定ある電報の外配達せず尙ほ時間外取扱は一切なさゞる由

埋火葬屆出改正

京城府の在住者にして埋葬又は火葬の屆出を爲す場合は從來所轄警察署の認許を得たる上府及び面事務所等に屆出たるものなるが此程總務監部令の改正に伴ひ從來とは正反對に府又は面事務所の認許を得たる上更に所轄警察署に屆出をなすこと改正したり

財界だより
大阪支局にて SN生

▲財界の大問題 財界の活況と共にプレミヤ附株式募集の風漸く激行の徵を示し之に伴ふ弊害又盛んならんとす彼の久原鑛業新株の公募十萬に對し約半數は現物仲買の呑み行爲により異樣なる希望者も募入外れとなり後非常なる高價にて讓渡を受けざるべからざるに至れる如き尙甚しきは攝津紡績の新株の重役に於て最低プレミヤ公募豫約の如き不手段行はるゝは財界のため甚だ面白からざる現象なり元來プレミヤは法律上道德上不當利益と見做すべからずとするも現物團の橫暴會社重役の不正行爲は異樣なる放資家に多大の損害を蒙らしめ事業熱を阻害し惡毒を流す事少ならず將來プレミヤ附募株を企つるものは公明正大に內容を開放し世人の疑惑を避るの要あり且つ當局は此際相當の取締を斷行し以て弊害を釀さゞるやう之を未然に防ぐ可きなし昨今財界の問題となり居れり

大阪商船新造
大阪 商船

大阪商船會社は新造船の計畫を實行し目下造船所に向て新造の契約をなし居るもの左の十三隻あり

總噸數	重量噸	造船所	竣工期
五、〇〇〇	七、〇〇〇	川崎	五年九月
五、〇〇〇	七、〇〇〇	同	五年十月
二、〇〇〇	三、〇〇〇	石川島	六年中
二、〇〇〇	三、〇〇〇	同	六年中
三、二〇〇	五、〇〇〇	大阪鐵工	六年二月
三、二〇〇	五、〇〇〇	同	六年四月
五、〇〇〇	七、〇〇〇	同	六年十月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	六年一月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	六年二月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	六年三月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	六年七月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	七年二月
八、〇〇〇	一二、〇〇〇	同	七年五月

右新造船の總噸數七萬三千四百噸にして重量噸は合計十萬九千噸に上れり殆んど大型貨物船なるを以て是等の船舶が竣工して行動するに至らば一大勢力を加ふることゝなるべし

共進會閉會後の臺灣

▲共進會閉會後の臺灣は所謂火の消えたるが如きものなり一箇月以上に亙りて殷賑なりし反動として暴風雨後の如き靜寂を感ずるは又已むを得ざる所ならむ▲共進會閉會前降雨に苦みたる臺灣は今や旱魃に苦しまんとしつゝあり四十日に亙り降雨なく且つ連日九十度內外の暑熱を以てす慈雨沛然として來らむを翹望し居れり▲殊に農業の中心、蔗作、稻作の主要地方たる臺中、嘉義方面にありては旱魃の被害既に淺少ならざるべきを期し居るも今にして降雨せんか南國の面目一新するや必せり▲臺灣は旱魃に苦み雲雨の來らむを切望するに方り對岸南支那の風雲は益々急ならんとす我が臺灣の地位は砂糖米の產地としてのみならず益々重要の意味を加ふ▲然るに臺北は十八日夜半大雨あり新綠の爲めに新なるを覺れたり農人は以て黃金の慈雨となし來るべき收穫期の豐作なるを豫想し天の臺灣に惠みするを喜び居る次第なり▲十五日閉會せる共進會は一般地方人民に頗る良好なる感じを與へたる如し臺灣に於ける空前の催しにして將來の統治上其効果の大なるべきは今より之を想望し得べし▲而して內地人等にありては不要とまで感ぜられし裝飾其他の設備等に於ても臺灣人に取りては最も必要なるものありしが如く植民統治上の効果や蓋し大なるものならむ▲安東總督は共進會の成功を齎らして上京し閑院宮殿下に御禮申上ぐべく又內務省其他に對しても報告する所あらむが共進會の成功は內地一般の認むる所とならむ(十九日臺北より)

南言北語

英國の下院で一議員が政府は何の法律規則に依て義勇兵の募集をなすやと質問した▲議場は成る程募兵の規則なるものは見たことがない▲政府は何と答ふるかと片唾を呑んで居ると▲軍器大臣ロイドヂョーヂ氏は徐に起て曰く▲政府は千八百六十三年卽ち米國の南北戰爭時代に發布した法規に依て居ると答へた▲今から五十三年も前の法規が今頃有効だと氣が付くものがなく其で納得して了つた處は其處が英國風だらう▲獨逸が今回の戰爭で種々のものを發明して居るには驚かされる▲此頃は各將校に小型の瓦斯式拳銃を持たせて居る相な其れは彈丸を發射するのではなく瓦斯を發射する▲擊たれたものは瓦斯の爲めに窒息して數時間人事不省になる▲此の使用の目的は之により敵を捕虜とし其の內情を吐かする相な▲露軍なども此の手で大分やられたので其の拳銃を分捕て研究を始めたと云ふ事である▲亞弗利加遠征の英軍に對しては蜂攻めと云ふ奇妙な戰術を行つて居る▲イヤ何うも奇想天外な事をやるのは獨逸だ苦しまぎれでもあらうが兎に角旣往の戰術に一變を與へんとするやり方は敵ながら痛快な奴だ▲前代議士の島田俊雄君は一念發起して法科大學に通つて居るので學生として政黨政派に關すべからずと云ふ處から政黨本部への出入を差し止められた相な▲又た澤來太郎君は此頃法螺の稽古を始め法螺居士と迄號して居る▲處が其の法螺は眞物の法螺で毎日ブー／＼やつて居る相ながやかましい事だらう

京城府民の經濟

■將來京城が更に大なる都市として發達すべきは自ら疑ふなきが、之が發達には攻究すべき都市經濟問題は甚だ多し、京城府市民の生活狀態は如何、收支の兩面より見て將來如何の餘地あるかの如き最も有力なる研究資料なり、收入は經濟生活の源泉にして活動發展の基礎を成す、然れども其種類多樣にして頗る複雜なる生活を營める一般市民の收入を詳細明細に知悉することは到底不可能なり、たゞ之が目安となるべき職業の種類、人數、並に經濟の狀態等に定めて推就するに於ては市民の經濟狀態を略ぼ知ることを得べし。

■內鮮人共其從事せる職業を勤勞所得者、商工業及び其他の職業に三大別すれば內地人には三千人鮮人には約四萬人の無職者あり、內地人に於ては勤勞所得者其主要部を占め居る割合なり、而して職業者中の勤勞所得者を一人平均一箇月六十四圓鮮人三十八圓と見積る、試みに總督府本府の職員全員千九百三十四人(本年三月末現在)に就て見る時は給料總額七萬三千百七十九圓四十錢にして一人平均七十五圓六十七錢に達すれども之を京城巡査の全數二千五百人其所得平均四十三圓と平均せば五十九圓三十二錢五厘に低下す此外商工業關係の各所得も略之と大差なかるべし。

■今假りに此計數に據る時は京城市民一箇年の總收入額は大約二千四百二十六萬五千五百餘圓にして內鮮人共各一千餘萬圓の收入を示し居れり、人口に於ては僅かに三分の一餘に相當する內地人の收入が却て多少の增額を見るは勤勞所得者の給料の多寡、商工業の規模の大小、諸職工賃金等の高低等に基因することは勿論にして朝鮮人側は尙ほ將來收入增加の餘地大なることを知らむ(續く)

◉京畿春蠶成育 京畿道昨今の蠶兒に付き聞くに十四五日掃立以來天候不順なりしも成育比較的良好[illegible]何等の差支なしと

◉內田汽船好況 神戶內田汽船[illegible]社の營業狀態は當期に入りて[illegible]一萬六千五百圓にて三菱へチヤーターし居る外豫て大阪鐵工所にて建造中なりしインヤクード型汽船を[illegible]萬圓)を百萬圓にて神戶棧橋會社へ賣却したる等業々好成績を擧げつゝあるを以て當期は前期に比し一層多[illegible]

[illegible]輸移出米穀檢査狀況を視察すべしと

◉穀物商倉庫建築 仁川穀物商共同倉庫は所報の如く[illegible]府水產會社建物[illegible]

[illegible]町三丁目飲食店富士の屋[illegible]から今回も近來其弊甚しきより本町署にては此の程注目せる黃金[illegible]けしとあり其後源次の名義にて營業をつゞけ四名の雇女を抱へ以前よ[illegible]

◉桃花洞溫突小火 京城桃花洞三百五十八番地李壽萬方溫突の焚口より[illegible]

[illegible]八百四十三人北行八千七百六十八人南行一萬七千五百一人北行一萬十千五百[illegible]

地方金融組合登記

鐵原地方金融組合長任期滿了ニ付定時總會ニ於テ左記ノ者再選大正五年五月八日就任ス 江原道鐵原郡[illegible]邊面中里四統五戶 朴鵬陽

平康地方金融組合長閔明植辭任ニ付左記ノ者當選大正五年五月八日就任ス 江原道平康郡[illegible]

右登記ス 大正五年五月[illegible]日

京城地方法院鐵原支廳

購買入札

一 鐵材、エナメル線、局內ケーブル、本線[illegible] 參件

右詳細ハ昨日ノ朝鮮總督府官報ニ在リ

大正五年五月廿四日

朝鮮總督府遞信局

第八期決算
(自大正四年四月一日至大正五年三月卅一日)

貸借對照表

資產ノ部

科目	金額
定期償還貸付金	壹、四四壹、五九七、九九五
年賦償還貸付金	四、五八八、七八七、四〇〇
移住費貸付金	貳壹參、壹壹〇、八五〇
農工債券引受高	壹、六五〇、〇〇〇、〇〇〇
別口當座預ケ金	壹、五七〇、〇〇〇、〇〇〇
當座預ケ金	九七參、四七四、八六〇
通知預ケ金	七五〇、〇〇〇、〇〇〇
定期預ケ金	貳〇貳、貳參五、六壹〇
振替貯金	貳壹、〇四四、參六八
債券價格較差	壹、四參六、七參七、五〇〇
地所	壹四、四〇五、六五六、壹六貳
建物	壹、壹六四、〇九參、六參〇
工作物	壹壹六、八〇〇
耕牛	五、五壹參、參參〇
農產物	壹、四四五、八九七、八參七
貸付用品	參〇、六貳四、九貳〇
什器	參、貳參參、七〇〇
耕牛讓渡金	八四、〇四四、貳五〇
貸付物品	參貳、五參七、五七壹
開墾工事費	貳八六、四貳參、〇九〇
灌漑工事費	四五壹、八八貳、貳六五
新築費	壹〇、貳貳四、六八〇
山林費	八五、五〇〇、六六貳
竹林費	壹參、八五參、五四五
地所費	四八、五五四、貳九〇
出張所勘定	壹〇七、參五貳、六七九
地所買收諸掛	參壹八、六參九、參壹貳
假拂金	壹〇八、七六五、壹壹七
未收金	四、六〇貳、八貳〇
金銀在高	五、七八八、七七六
總計	參壹、〇參〇、參八五、參五九

負債ノ部

科目	金額
資本金	壹〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇
缺損補塡準備金	參八九、參〇〇、〇〇〇
配當平均準備金	壹貳壹、七〇〇、〇〇〇
債券發行高	壹九、參五〇、〇〇〇、〇〇〇
假受金	七四、貳〇參、貳四六
未拂金	壹四、參九貳、六六〇
契約保證金	參、參六〇、〇〇〇
身元保證積立金	貳貳、六五五、八壹〇
職員退職給與基金	參貳、八五六、六七〇
前期繰越金	參壹五、貳四壹、八〇五
當期利益金	七〇六、六七五、壹六八
總計	參壹、〇參〇、參八五、參五九

利益金分配處分

一金七拾萬六千六百七拾五圓拾六錢八厘 當期利益金

一金參拾壹萬五千貳百四拾壹圓八拾錢五厘 當期繰越金

合計金百貳萬千九百拾六圓九拾七錢參厘

內

金五萬六千六百圓也 缺損補塡準備金

金壹萬四千貳百圓也 配當平均準備金

金參萬五千四百圓也 役員賞與及交際費

金六拾五萬圓也 配當金(年六分五厘)

金貳拾六萬五千七百拾六圓九拾七錢 後期繰越金

監事當選

監事一名選擧ノ結果關本元之助當選就任セリ

右公告候也

大正五年五月

東洋拓殖株式會社

新刊書御案內

書名	著者	定價
法律講義	阪上稠吉	特七五
朝鮮總督府巡査試驗提要	永島清	同四五
民法演說案纂	三輪卓堂	三五
信書精要上下二	中川靜	一九〇
練習式手紙の文	中村春堂	六五
實用ペン習字帖	黑柳勳	二〇
建築圖案集	フランクロイドライト	一三〇
通俗英和熟語辭典	清水起正	七五
セリスピア物語	ポケツトリター	五〇
實習梵語字	秋澤雲來	一七〇
南軍通覽	保阪彥太郎	四五〇
つれ／＼草	芳賀矢一	八五
西洋乞食土產	坪內士行	一四〇
我等の一團と彼	石川啄木	三五
烏帝艷史	三木愛花譯	九五
ロスメルスホルム	島村民藏譯	一〇〇
グリム御伽噺	中島孤島譯	一二〇
佐久間象山	[illegible]	二〇
天理教祖御稗傳	[illegible]	二五
觀世流の友	解訂本	五八〇

京城本町 大阪屋號書店 電話一〇八六 振替京城二五七三番

衛生口錠 カオール

人に接する時必ず口中にせられよ

特長 ▲他人の惡氣を豫防し ▲心身の疲勞を恢復し ▲精神爽快、元氣旺盛

◉ヒスイ色まが玉形 ◉弗入形卅五錢 ◉袋入形十錢 ◉箱入形卅八錢 廿五錢 一圓五錢

本舖 代理店 東京 安藤井筒堂 京城 新井藥房

七星堂醫院

京城本町四(櫻井町角)電話二二二四

內科小兒科 梅毒淋病 皮膚病外科

院主 鈴木慶藏 醫師 垣田精一 醫師 淵上或一

……るもの等あり蠶業の發達……
も亦前同樣寒氣のため遲延を來したれども蠶兒の發育に伴ひ給桑上には
……も有利なるものゝ由にて最近……
中商會より購入したる蔚山丸を一……入したる第二歐羅巴丸（價格三十二……
……九日總督府より小池屬小島技手下仁……
黃金町界隈は風紀を亂す飲食店少……筋の眼に觸れて營業停止の處分を受……の拘留處分を受けたり

□日の出學校野遊會 日の出小學校にては廿三日奬忠壇に於て職員生徒一千餘名の野遊會を催し職員も生徒も男生も女生も打交て遊戯に運動に興じ一日を過したり

◉生蕃物語

＝男は狩獵女は農業炊事＝

宛として太古の民 頭目は蕃社の主權者 義理堅い頭目の選擧＝

土地調査局調理課長 工藤壯平氏談

生蕃の地は行政上臺南を除く他の十廳に分屬管轄せられて居るが夫れは單に表面上の事であつて蕃地には法令も何にも行はれては居らぬ前に述べた七種族の蕃民は更に其の種族の內にて耕作狩獵の便宜上又は外敵に對する攻守同盟、其

□他祖先を同じくし

祭祀を同じくし風俗慣習言語等を同じくすると云ふ關係上多數の團體に分れて居る此の團體を社と稱して居る各社は各々頭目を戴いて居る頭目は蕃社の主權者であつて蕃社は頭目司宰の下に一種の自治體を形成して居るが社會の秩序は實に整然として一絲紊れず彼等は彼等の社會道德に對して

□眞面目なる觀念

を有して居る一例を擧げると彼等は出獵して獲物が有ると其れを路傍に置き其の上に草の葉で輪を作つて獲物の上に載せて更に遠くの方へ獵に行くのであるが獲物は斯う爲て置くと幾日經つても通行人が其の獲物を持つて行く樣な事は決して無い又彼等の穀倉には極めて簡短なる木製の錠がして有るばかりで其の穀倉に

□盜賊が侵入する

が如き事は彼等の夢想にも知り得ざる處である猶其の族長に對する其の態度其の信仰に於ける事約束に違反せざる事男女間に淫らなる事の極めて少なき事有夫有婦の姦淫の如き誠に稀有の事に屬し且社會が之に加ふる制裁の嚴酷にして些かも寬容せざる事等彼等の道德心の堅固なるは

□文明國人も及ばざ

る處である况して日本人支那人及び土人等を彼等の道德眼から見たらば盜人が居る嘘言は吐く姦淫する者もある約束位は平氣で違反する如何にも亂雜なる社會で有ると思つて居るに相違ない而して彼等蕃人は平常如何なる事を爲て居るかと云ふに男は狩獵を主として居るが平常は草を刈つたりする位で多くは

□ブラ〳〵して遊で

居るが之れに反して女は主として農業に從事し平常の炊事をする織物をすると云ふ風に間斷なく働いて居る其の外家畜を飼うて居るが之れも穢ないと云ふので男は一切手を觸れず女ばかりが飼養して居る農業は山を燒いて其の跡へ粟、豆、陸稻等を播く農具には鍬に似たもの鎌に似たもの木で拵へた鋤の樣なものもある

□家畜には水牛を

主に飼ふが牛豚山羊雞なども飼ふから す飼養して居るが豚だけは非常に穢ないものとして別に小屋を造つて其れに飼つて男は其の小屋を覗いても見ない位である彼等の頭領であり指揮者である處の頭目には祖先から世襲のもあり又一代々々に選擧する蕃社もある選擧される頭目は大低

□武勇膂力衆に勝れ

本島人の頭を取つた位の經歷の有るものが選ばれる其の選擧の方法は蕃社蕃社に依つて多少は異つて居るが大抵は社の老蕃總代老蕃等の年長者が集會を開いて候補者を定めそれから社民を集めて其の同意を得た上で之れを其の被選擧者に告げるさうすると其の選擧された者は

□何回も推し返へし

推し返へして之れを辭退する「自分は非常に詰らん者で頭目の重任に堪へぬ」と云ふ樣な事を述べて義堅い古來からの形式に依つて辭退する。（つゞく）

◉平岡定太郎氏無罪判決

前樺太長官平岡定太郎氏に係る十八漁場賣金及び印紙割引利用十四萬圓の橫領事件は東京地方裁判所刑事第三部名川裁判長の係にて審理中の處二十三日證據不充分の廉を以て無罪の判決言渡しありたり（東京特電）

東京大相撲

廿三日午後東京支局特電

▲六日目の勝負

勝　負
八幡山　四國洋
成瀨山　朝日山
琴ケ浦　神錦
逆鉾　藤の川
一港　玉の川
緋縅　四海波
紅葉川　大の川
近江富士　敷島
大戶平　朝緑
土州山　紫雲龍
宇都宮　千年川
兩國　石山
九州山　大蛇潟
栃木山　伊勢濱
太刀山　源氏山

▲中入後
稻葉嶽　柏戶
龍ケ崎　稻の穗
小常陸　寒玉子
黑瀨川　宮城山
玉手山　岩木山
鳴門洋　釋迦嶽
梅川　浦の濱
眞砂石　對馬洋
鶴渡　大錦
西の海　大鳴門

藤鳥渡差し遲れの氣味なりしがその右の內▼逆鉾に藤の川は逆突きかけまゝ差すを逆右矢筈にて押倒す▼一港に玉の川は四に玉喰ひ下がつて捻らんとするを反對に捻つて一の勝▼紅葉川に大の川は烈しく突き合ひ大の再三敵の右手を引しも紅葉殘し無二無三に突出して紅葉の勝▼敷島に近江富士は近江立ちざま敷の首を抱へて飛び違へ敷の周章る所を寄倒す▼大戶平に朝緑は右四つ大一氣に寄り進み朝が首投げを打たんとするを差手を筈に代へて押切る▼土州山に紫雲龍は紫雲の突き出す右手を土州手繰つて後へ捻り殘すを透かさず押切つて勝

▼千年川に宇都宮 は好取組宇都より突いて立ち右手に腮を攻めて押進むを千年引外づし互ひに小手を攙め合つて鳥渡押合の內右四ツとなるや拔き上げて吊り出し宇都の勝

▼石山に兩國 は兩立ち上りさま石の右手を引かけ例のかけ投げに行くを石殘し右を筈に當てゝ押さんとしたれど利かず石の双手を挾みつけ寄り倒して兩の勝

▼大蛇潟に九州山 は當日第一の好取組九立ち上がりさま左手を筈に當て押進むを大蛇殘して廻り込み反對に押すを九殘し双筈に當てゝ飽くまで押すと見せ大蛇のツンと堪ふるを九双手を引外づして體を右に交はせば大蛇機みを喰つて東溜りにノメつて九の勝は大喝采

▼伊勢の濱に栃木山 は模範的の仕切鮮かに立ち上るや栃左を當てゝ右手に伊勢の左手を殺して押進むを伊勢堪へて栃の左手を引張り込み强引の小手投を振る事再三栃腰を落して更に右を差すや伊勢門に極めんとするを寄切つて栃の勝は大喝采▼源氏山に太刀山は源の右手を太刀左手に捲き右手を當てゝ一氣に押進み源が土俵に殘さんとするを半身に體を預けて押切る

▲中入後

稻葉嶽に柏戶は左差寄切つて稻の勝▼稻の穗に龍ケ崎は無雜作に突き出して龍の勝▼黑瀨川に宮城山は宮突張つて黑危ふかりしが殘して左四つ吊出して黑の勝▲寒玉子に小常陸は烈しく突き合ひ右四つとなり小常陸つて寄進むを寒捲き落したるも土俵を踏切りしあとゝて小常の勝▼鳴戶洋に釋迦嶽は左差を右筈にて押倒し鳴戶の勝▼岩木山に玉手山は岩烈しく突かけハタキし時は玉泳いで危ふかりしが殘して飛び込みざま左手に前褌を取るや覓れかゝつて押倒す

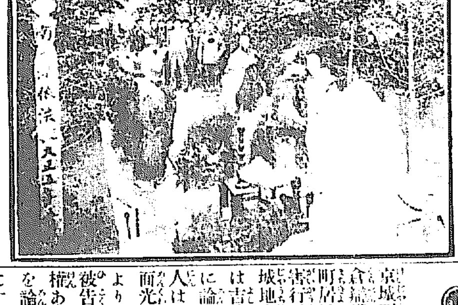
▼梅川に浦の濱 は梅鋭く突きかけ左右交々腮を攻めて押進むを浦殘しつゝ土俵を廻り込み追ひ込み梅の右手を取つて手繰り出したるも浦に踏切ありしため梅の勝は儲け物

▼對馬洋に眞砂石 は對馬がヤッと突きかくるを眞砂一歩下がつてイナシ對馬の體の伸びたる所を美事にハタキ込めば對馬モンドリ打つて眞砂の勝は喝采

▼大錦に鶴渡 は鶴立ち上がりさま左を差し右を筈に當てゝ猛烈斜めに押進み錦が右を廻つて逃ぐるを追ひ込み正面溜りの上に押落し美事鶴の勝は滿場の大喝采▼西の海に大鳴門は鳴門の出ハナをハタキ落して西の勝にて打ち出し

◉武田和尚第七回忌法要

既報故武田範之和尚第七回忌法要は二十三日午後五時半頃より龍山元町瑞龍寺に於て營まれたり英靈永劫に眠れる同寺境內、青葉がくれの墓前には供物燈明等供へられ磨き上げられたる如き大理石の墓標の文字も鮮やかに見ゆ、軈て瑞龍寺住職富士洞禪師並に京城若草町曹洞宗別院主任高田穎哉老師、元山法秀寺住職仁生郭仙師を始め其他十餘禪師の讀經あり、各住持の燒香に次で參列せる寺內總督使者並に目下入京中なる內田良平氏を始め參會者全員順次燒香



範之和尚法要

禮拜ありて法要を終へたり尙當日の參會者は前記の外岡本第九師團參謀長、中樞院書記官長李謙濟氏、子爵宋秉畯氏代理、總務總監部長事務官、同永谷參觀、權藤李王職事務官、秋谷朝鮮新聞社長、牧山朝鮮公論社長、大垣京城通信社長、阿部本社長代理、各社記者、其他約七十名終つて本堂に於て折詰酒の饗應あり同席上京城琵琶界の宗匠井上旭崇女史の「那須の與市射的」の一曲彈奏ありて散會したるは午後七時頃なりし因に當日は特に宗務にて目下滿鮮地方巡錫中なる故武田和尚の高弟新潟縣東頸城郡下保倉村顯聖寺を後襲し居れる祥雲晩成師も參列したり

學界偉人の大講演

三十餘年刻苦心の結果廣文庫の著作をなし我學界の大恩人たる

文學博士物集高見氏は今回の來鮮を幸ひ本社支局の乞ひに應じ左記の順序を以て各地にて大講演あるべし 來聽隨意

□鎭南浦（廿四日）
□平壤（廿五日）
□大邱（廿九日）
□釜山（三十日）

主催 京城日報社各支局

◉兇漢逮捕さる

刑事四人で包圍す

釜山東萊郡機張面生れ韓奇龍（二三）と云ふは强竊盜前科三犯の曲者にて數年前機張にて竊盜を働き同地の駐在巡査野邑某に捕はれたるが東萊への護送の途逃走を企て格鬪したる爲め同巡査は心臟痲痺を起し絕命したるを幸ひ其の場を逃走したるが間もなく捕はれ服役出獄後も尙盛んに各地方にて竊盜を働き居るも韓は頗る强力にて容易に縛に付かず巧に姿を暗まし居り其の筋にても少なからず搜索に苦心中なりしが此の程韓奇龍が東萊大新洞高相辰方に潜伏し居る事を探知したれば樋口、野々上、咸、愈の四刑事協力して高相方を包圍し一時に踏込みて難なく逮捕し目下取調中なるが犯罪件數頗る多き模樣也

◉侵害行爲停止

佛蘭西人の勝訴に歸す

京城西界洞居佛人トレモレー氏は朝倉辯護士を訴訟代理人とし京城茶屋町居鑛山業鈴木延吉氏を相手取り侵害行爲の停止に關する請求訴訟を京城地方法院に提起したり被告側にては吉武辯護士を訴訟代理人として互に論爭する所ありしが其事實は原告人は大正四年九月中忠南公州郡灘川面光明里所在の金鑛を自性敬なる人より質權に依りて讓受けたるに一方被告人側にても右金鑛に對して獲得權ありとの事にて其の鑛石二十五噸を論山驛へ搬出し尙引續き搬出せんとする模樣あるより右訴訟に及びたる次第にて此程同法院にては右鑛石の搬出並に一切の侵害行爲をなすべからずとの判決を與へたり

◉淑明高女十周年記念

私立淑明女子高等普通學校にては二十二日同校創立十周年に相當するを以て校內に於て自祝の會を催し更に二十三日午後五時より京城ホテルに於て同じく自祝のため茶話會を催したり當日は宇佐美、松永兩長官、關屋、兒玉の兩局長、森安博士を始め其他朝野の官民百五十餘名出席す最初松本雅太郞氏校長代理として挨拶を爲し其より宇佐美、關屋、松永、エビソン、太田諸氏の祝詞あり終つて茶菓の饗應あり七時十分散會したり因に同校は朝鮮に於て內地人の企てたる朝鮮人の女子敎育として其先鞭者にして明治三十九年より今日迄百五十餘名の卒業生を出し現に二百三十名の生徒を收容して敎育し朝鮮女子敎育に貢献する所尠からず

◉電車の窓で怪我

二十二日午後三時三十五分頃京城電氣株式會社の六十一號電車が光熙門より鍾路に向け黃金町一丁目を進行中乘客なる水下町の鄭漢俊（二七）は車窓より左手を差出したる途端に電柱に打つ著かり上腮部に治療一箇月を要する骨折を來し取敢へず南大門通一丁目共愛堂藥房にて應急手當を受け目下加療中

腕の人

＝工傳金工科 板金細工＝

□街よりはズッと賑い□

「此の漏斗と甕取りと籬吹きのブリキ細工は今春入學した許りの一年生の製作ですがハンダの澤山著いたところが御愛嬌です」と板金細工科の主任助敎授は哄笑した、見れば眞鍮製の朝鮮食器あり、御飯蒸しあり下手な金物屋さんほどの金物がある「これは傳習所で拵らへた銀製品代用の指輪と鞘ですが昨今非常な勢で賣れつゝあります、第一指輪にしても朝鮮の銀細工店では一個二圓もする品が此不變色合金で作れば一個僅かに二十錢位のそれに重さも光澤も銀と寸分異ひなしですから昨今鮮人間には大歡迎を受けて居ます、また此の釦は一本一圓五十錢のが此處では合金で三十五錢ですから毎月一千本づゝ特約して賣て居ます」との談し

由來朝鮮人の多くは銀製の裝身具を使用するが今では

學校の名を印した箱さへあれば什麽人でも安心してドシ〳〵買求めて居るといふ、また鮮人の好むで用ゐる銀製の臺付盞の如きも一組七圓位のものが合金なれば僅かに七分の一の一圓で出來る、これは詰り此の合金が四百度の低溫度に鎔解する爲め金型を使つて何千何萬と造れる爲であるとのこと、其の他

室にはいろ〳〵な合金製朝鮮食器類が造られてあつた

優等譯で二箇年の金工科を卒業した此處の自營團に入つて腕を磨く生徒には毎日ありあまる程の收入がある其の他時々な寺內總督が賜つて行かれる洗指盂やスプーンなども眞鍮の銀鍍金がなか〳〵美事に出來上つて居る、敎室兼實習所となつた工場では天井からぶら下つた夥多の調革がスル〳〵〳〵と蛇の樣に動き

シュッ〳〵シュッ〳〵と火花を散らす金剛砂みがき盤

や、お皿をみがく旋盤のはたらきなど、隅から隅まで活き〳〵した元氣が漲つて居る、また鍍金實習所といふのを覧ると此處にはニッケル、銀、眞鍮、銅などの鍍金液があつて一人の生徒は今しも傍の電壓計と電流計とを加減しながらしきりにニッケルの鍍金をやつて居る、傍にはまた工場の調革を動かす原動力の蒸汽機罐が盛んな勢で石炭を呑むで居た（つゞく）

警官志望者養成講義錄

警官は內地臺灣朝鮮支那外國に就職◉此榮職に就けば確實成功◉本會は志望者の發成受驗に合格せしむ◉在鄉軍人靑年立身の福音◉見本進呈◉東京芝公園警成協會

材木商 京城府岡崎町 須川商店 電話（龍）四三四番
樫、欅、朴、桂、杉杢、杉柾、鴨綠江材、各種

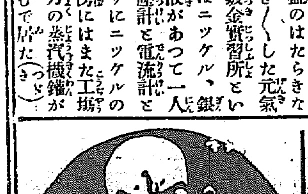
▲常に健康で越たき人今から次亞燐を召上れ
定價 大 貳円 中 壹円參拾錢 小 八拾錢
▲効は牛乳の數倍！腐敗の憂ひなく最も安心
◎各藥店にあり
本舖 大阪藥種商 小西久兵衛

讃岐象頭山琴平山地流鍼灸治療
期間 自五月二十日 至六月十日
名鍼名灸 並に 接骨術 施療
治療受付時間 午前七時より 午後五時迄
■時間都合に依り柔道夢想新流奧義活法傳授す
京城太平通廣江商會前（電話一四〇三番） 廣瀨館
於出張所 興武館 熊川治療院

ポンプは……
京城本町二丁目 熊平支店
電話六二四番 振替京城二二番

內科 胃腸病 診察 夜九時迄
京城本町一丁目 石川醫院
電話 專用 二七二九番 三三

日韓書房 新版報告
內田銀五郎著 採鑛設計 定價一円七十錢 送料十四錢
四野宮朝治著 珠算讀本 定價四十五錢 送料八錢
諏訪末吉著 實際養蜂 定價一圓三十錢 送料十二錢
久保天隨著 作法作例 叙景文 特價五十錢 送料八錢
嚴谷小波著 俳席便覽 俳通 定價一圓五十錢 送料十二錢
京城本町二丁目 朝鮮電話 振替口座



外の目藥にて效なき人は試みよ
スグに効ある目藥
登錄商標 直治水
主効 トラホーム、やにめ、はやりめ、うみめ、かすみめ、めくさ 其他眼病諸症に特効あり
（点眼器付）價十錢、廿錢
本舖 東京 大阪 丹平商會藥房
全國各藥店にアリ

千生瓢 (221)

須藤南翠作 筒井年峰畫

長湫（廿二）

池田勝入齋は思ひの外なる不覺の軍して、今は敵を破つて進むべき術策も盡き、所詮は一方の血路を開いて、堀秀政の手ごつになるより外はなかつた。

前面より打ち出す井伊が赤備への猛擊には、いかにして打ち向ふべき望みはない。西北の一隅を突破したれば、勢を斂めた堀が陣地に聯絡して、物負かくと見るや、手勢引具し驅け隔の中より村越三十郎と名乘つて、唯一騎槍を捻つて、渡邊目がけて突きかゝる。物負も武邊を許された究竟の侍大將である。ござんなれと槍を合して、一上一下と突き進み、今一息にて村越に突き勝つべしと見ゆる時、井伊勢の中より、河合四郎右衛門馬を進めて、甲州流の殺矢を引きしぼり、狙ひ固めて切つて放せば、其箭過たず、渡邊が腰の番ひなしたゝかに射込んだ。

「一騎打ちの勝負に、飛道具の加勢己れ卑怯の法を心得ぬかッ」

物負は大いに憤つて、當の敵の村越をうち捨て、河合を目がけて突きかゝる。村越少しも猶豫せず、馬に角入れ馳せ付けて、槍取り直すよと見ゆるが「わい」と鋭く突き立つる手元狂はず、物負が胸板を、押付の板にかけて、穗先の白く現はるゝまで、思ひのまゝに突き貫ぬく。かゝる痛手に何として怺れ得やう、物負はうむと仰向反つて、鞍にも堪らず落る處を、村越飛下りて首を掻く。

池田方の侍大將片桐半左衛門は、勝入齋の命を受けて、紀伊守之助に追及き、兩軍の聯絡を保たうと急ぐ處に、同僚渡邊が討死を見て、悲憤の涙を揮ひ、當の敵逃さじと、一旦馬首を回らしたもの、勝誇つたる敵の中に、唯だ一騎にて討ち入るとも切死するより外たければ、無念を忍び、死骸の揚處に驅け著けて、手早く屍を埋し、生命あらば家族へ遺品に贈り遣はさうと、物負が秘藏の銘劍、相州五郎正宗の、二尺八寸を取り納めて、其儘敵を打ち散らし、先手をさして馳せ去つた。

然るに井伊兵部直政は、年少氣鋭の驍將とて、自ら馬を陣頭に立て、勢ひ鋭く擊ち立てるので、勝入齋が旗下は、散々に討ちなされて、今はいかに焦燥ればとて、堀の手に合することは思ひも寄らず、紀伊守の方にとても、馳せ著くべき望みとてはなく、全く以て盡き果たのであつた。

信輝入道勝入齋は、黒母衣の騎士を指揮して、潮の如く寄せ來たる赤鬼（井伊の勢は甲冑指物皆赤し。此時の活動、惡鬼羅刹の暴れ狂ふ如く當る處前なき勢ひであつたので、上方勢は赤鬼と稱したのであつた）と勇戰してゐる河合又左衛門尉を招き寄せ、

「乘馬をも失うた上に、斯う斬り崩されては、何處に退口が得られやう、入道只今覺期致した。其方紀伊守に馳せ著けて、兎も角も家保つやう申し傳へよ」

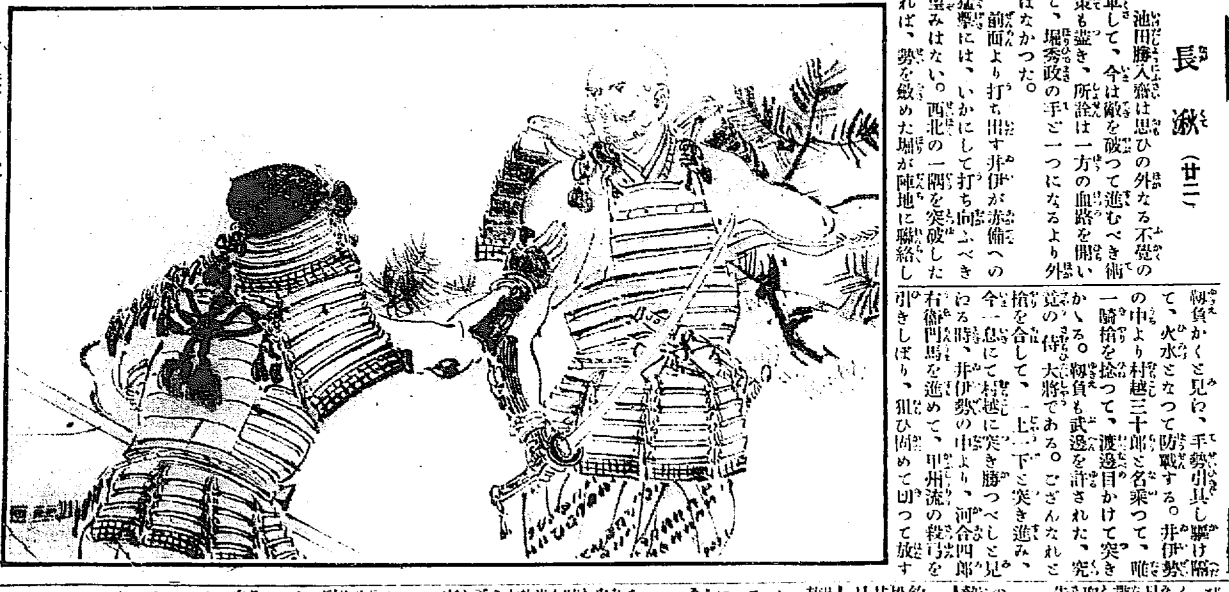
勝入齋は胡床に腰を下したまゝ、自若として遺命を傳へた。又左衛門が諌めを進めようとした時、血氣壯んの井伊直政、槍を捻つて突き込んで來た。又左衛門それを見て、槍取り直して立ち向ふ。

前回よりの續き

て、此の頽勢を盛り返すこと、萬に一つの望みのない次第であるまいと入道勝入齋は思ひ得たので、味方の勢を麾いたが、周圍を衞つて奮闘する三十八騎の近習の外は、心々の合戰して、容易に采配に順ふべしとは見えなかつた。我が手紀伊守之助はと見れば、眞先に馬を出した之助も、三州勢に擊ち、類まされて、堀の手に一緒にならうと、僅の馬廻りにて、其方をさして馳せ行く姿の、丘の根方に顯はつ隱れつするのであつた。

「紀伊も同じ了簡と相見ゆるわ。いざ此方も後を追はうよ」と、馬の轡を引廻す。

池田が旗下の動くを見て、井伊が先手、哄と喊いて競ひかゝる。渡邊



釣道具新荷著
京城永樂町二丁目
釣道具製造卸商 吉備商會
其他漁網類 投網一式 監獄署製品販賣所

小說豫告

千生瓢も近く大團圓を告ぐるを以て次回小說は東都文壇の宿將渡邊默禪氏が近時の大作

「女鳩」

を掲載すべし挿畫の鮮麗と內容の面白きは特に本社の證明に反がざるなり

□安東縣より 芳宙

滿鐵病院 芽慈姑を見詰む瘠の院長懐しき
支那町 支那人の胡琴擦れる春雨の町
朧石細工賣る店の雲雀囀れる
支那芝居ありし隣に春の雨
銀相場で費ぐ打算や日永き民
射石居らぬ淋しさを春雨に濡れて

新刊紹介

▲汎獨逸主義 プロホの非戰争は根底より其の輪擴を覆され今や世界は軍國主義の可否論より一轉して實際問題に入れり歐洲戰爭の結果はいざ知らず戰後の世界は必ずや思想界並に政治上社會政策上に一轉化を免れざらんとす其の理如何獨逸帝國主義が國際間に於て事實上の最大權威たるを確めたるに依る本書は巴里大學教授シャルル、アンドレル氏の原著を大原文學士の譯述したるもの汎獨主義帝國主義及び之に關係ある諸問題を論及し能く其の因を究め殆んど完璧に近く且附錄せる七章は之のみを以て別に一冊を成す可き程に見るの好文字たり帝國が獨逸を研究するの必要今日より急なるはなきの時に當つて斯くの如き好著あるは悦ぶべし（一圓 東京市麴町區土手三番町三一 思潮社）

▲婦人週報（二の二一）四錢 東京市牛込區市ヶ谷町二の一七 婦人週報社

▲日本印刷界（七九）廿七錢 大阪市東區南本町二丁目 日本印刷界社

▲市町村雜誌（二七〇）行政實例行政裁判司法裁判例は實例なるだけに興味多く論說術其他産業其他の各欄も有益なる記事を載す（十錢 東京市芝區西久保櫻川町 市町村雜誌社）

▲英語獨習誌（創刊號） [illegible]

▲土地と水（二の五） [illegible]

▲タンクステンとモリブデン [illegible]

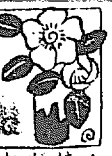
▲家庭料理法 [illegible]

▲日本一（六月號） [illegible]

▲相談之友 [illegible]

讀者の領分

▲私處の娘の子は可成大いのですが一度奧迪の近道から鍾路の學校に往つた處が鮮童から髪を引かれたりして散々な目に遭つたのでそれきり大廻りして往くやうになりました（子の親）▲殊に植民地に來て居る子供は弱者虐めをせぬやうに教育するが肝要である事があるものだ（鳩翁）▲朝鮮人は店舗中に立ながら空罐などに小便を仕込み直に道路に撒き散らすもの頗る多し蠅の驅除と共に之れが廢止方斷行あらむことを御願申す（日ノ出生）▲鐵築生に答ふ水原の狂犬病問題は非常なものである水原の獸醫が一度診斷して狂犬病の報告をしたら他の獸醫が何人見て狂犬病の症狀は無いと診斷しても殺すのだらうか御注も正式裁判を仰ぐであらうから吾々愛犬家も此際大いに研究して置く必要がある（愛犬家の一人）▲處世の秘訣は輪廓なしに陽陰ゐるゝなり裏に虎の如く表に猫の樣なるが最も現代的なり「いたずら」に聖人を氣取る勿れ心配すると頭がはげますよ（今孔明に與ふ）▲永登浦の監獄前から皮革會社前を經て漢江の渡船場に至る間の道路は車馬の交通が激しい爲め甚だしく壞れてゐるが全く道普請もやつたものでない其れが爲め雨の日などは到底徒歩でも通行は出來ない何とかよい工夫はあるまいか（自轉車乘）



商況

大阪株式特電

[illegible]

下關期米特電

▲廿三日後場（保合 [illegible]）[illegible]

▲又復保合手 [illegible]

平均値段 [illegible]

京日案内

普通 番外 ▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

雜誌巡廻讀會 新古圖書雜誌 ▲交換 ▲賣買 ▲貸引 京城本町一 松井松榮堂 電一三七八 492

◎貸家 煉瓦造二階家屋數棟低價にて貸す 京城長谷川町五八番地 ゴルシャルキ 491

◎鑛山 土木測量製圖 確實低廉 京城南大門通一丁目 四番 金澤代書測量事務所 490

▼金融 書籍 オルガン バイオリン にて御融通 本町二丁目 電二五ヒ ツタボヤ書店 158

◎藥劑師 前垂掛けの勤務先を望む（二十四歲）特に製劑に經驗あり（姓名在社） 480

◎店員入用 年齡廿歲前後にして簿記の素養有る者至急入用 希望者は本人來談あれ 大漢門側 富田屋 487

◎貸家 日本建官吏向家賃格安 使用の使あり 電話三六 488

竹木陶器大理石鋼鐵鍮化學應用彫刻活版捺印 京城黃金町 電話二八九 489

自轉車職工採用 大田（大田驛前）藤本自轉車商會 476

◎家屋賣却 土地附屬建物 京城 [illegible] 455

▲キャラメル 京城藤商會の人蔘キャラメルに限る 415

昆虫及植物採集用具特價販賣 京城壽町四 電話二三七〇六 回天堂教育品部 421

松榮堂新舊雜誌廻讀會の特色 賣受交換割引 京城本町一 電話一三七八 430

◎古本なら野村へ 京城本町一丁目（明治町筋） 野村書店 142

古本無比高價買入 御試買を乞ふ 京城本町一 野村書店 電話二七八一番 199

譲店 本町拔目の場所 小賣商店にして絕對に有利なる事を保證す都合により讓る（姓名在社） 493

六月一日 中風脚氣 三百名限 無料灸治 マッサージ療所 花園町電車終點 長生堂 485

電話 新番號 二八二八番 京城地方法院東隣 會澤代書事務所 481

▼讓店 現在確實なる御得意多數あり 建物は一軒にて間取都合何れの營業にも適す 讓る望みの方は相當御面談 姓名在社 472

京城春川間乘合自働車 京城發午前八時 春川發午前九時 京城水標橋通 京春自働車商會 電話貳壹參八番 支配人 松田壽男 60

旅館至急讓る 年營業多大の信用並に純益あり 都合により至急格安にて讓る 所在地 南鮮道廳所在地 歸國に付 主人 466

礦物定量分析 坂元分析所 京城太平通二ノ一二五 電話一三四四番 416

▲盛花 鉢新荷著仕候 京城南大門通五 樋口陶製所支店 電話三四六 444

玄米糊化卒先者にて東京醸友會醸造大會一等賞受領 細菌學應用 純粋糖化の玄米乳 新町 齋藤製乳所 京城 414

▲萬衣裳貨物所 本町五丁目電車終點 電話二千八百六番 べにや 120

東京中川式懷中電燈 魔法マッチ 乾電池の強力他製品と比較を乞ふ 小賣卸 黃金町電話二九十 口座京城壹武壹九 川合商店 186

恩給年金類 長期低利立換 市內土地擔保低利金融す 短期保險不要 京城南大門外（新町通） 山口屋 190

分鑛物各種 朝陽分拆所 京城太平町二の三 424

恩給年金で金融希望の方へ 抵利 ▲當分五年迄即時立替 京城永樂町 江州屋本店 456

賣家賣地 京城永樂町二丁目 商品陳列館裏門前 京城の何處に 眞洞三四 [illegible]

重石買入 京城南大門外 用ひたし御希望の方は御來談を乞ふ スミス 坂本出張所 469

りん病三日藥 京城明治町 一五一七 佐藤 473

わきが 藥を用ひ 京城黃金町 山田文殊堂藥房

肺藥進呈 [illegible]

指環及時計 仁川本町 糸岐商店 電話三〇七番・振替京城七一

新荷着 アンクル式片側懐中時計 正確保證 品質優秀 實用的にして價格の低廉なる事天下無比

本店 京城本町二丁目 電話九七二番 イングレッシー商會 時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒、各國貨直輸入商

パール

髪に一等よいあぶら

世界的 煉香油（萬人向）

髪の培養にパール煉香油をおつかひになれば黑くつやを増し房々と軟かに其芳香は又格別です

本舖東京 平尾銑也商店
關西代理店大阪 平尾贊平支店

溫陽溫泉 閑靜にして避暑避寒に宜し

質 京城黃金町二丁目（永樂町停留所北入） 堀佐營業所 電話六三九番

模範 純粹 牛乳 ヨーグルト 培養 場主獸醫肥塚正太 京城蓬萊町四 東亞牧場 電話五二番

京城春川間自働車運轉 京城發午前八時 春川發午前九時 京城南大門通二丁目二十二番地 廣橋京春自働車組 電話一二九番 主務 金正淵

大邱浦項間自働車時間 大邱浦項 大塚農場自動車部 大邱出張所 電話一一七番 [illegible]

金泉醴泉間自動車時間 金泉織居自動車支部 金泉電話四八番 [illegible]

尼崎汽船仁川出帆

群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大正丸 五月廿七日後四時出帆
○大有丸 五月廿七日後四時出帆
○神代丸 五月廿五日後四時出帆
○秀吉丸 五月廿五日後四時出帆
○君が代丸 五月 日後五時出帆
仁川海岸通二丁目 電話五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戶、大阪行 立神丸 五月廿三日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行 立神丸 五月 日後十時出帆
○門司、神戶、大阪行 小倉丸 五月 日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行 小倉丸 五月 日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行 第三牟于丸 五月 日後六時出帆
○門司、宇品、神戶、大阪行 第三牟于丸 五月 日後六時出帆
○住須奈、嚴原、壹岐、博多行 天眞丸 毎月二日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 本船取扱店 大池回漕部

阿波共同汽船仁川出帆

○芝罘、大連行 第十共同丸 五月廿七日入港 五月廿九日前九時出帆
○城津、清津、浦鹽行（元山出帆） 第一阪鶴丸 月 日後九時出帆
○西湖津沿岸各港を經て雄基行 第三共同丸（元山出帆） 月 日前八時出帆
本町二丁目 電話一〇八番 阿波國共同汽船株式會社
仁川代理店 田口回漕部
元山代理店 山下回漕部
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆

○京釜丸 六月十一日 釜山發
○成鏡丸 六月一日 釜山發
○咸鏡丸 五月廿六日 釜山發
○昌平丸 五月廿三日 元山發
○鏡城丸 五月廿二日 元山發
○清平丸 五月廿七日 元山發
○忠清丸 五月三十日 元山發
○永興丸 毎月廿八回 元山發
○會寧丸 五月三十日 釜山發
○江陵丸 毎日 浦項發
○三浦丸 五月廿九日 釜山發
○海州丸 毎日 釜山發
○慶興丸 五月廿八日 木浦發
○公州丸 五月廿五日 木浦發
○全州丸 五月三十日 木浦發
○宗信丸 五月廿七日 仁川發
○江原丸 五月廿七日 仁川發
○麗水丸 六月一日 仁川發
○晉州丸 五月廿六日 仁川發
○錦江丸 毎日午前 仁川發
○南陽丸 [illegible]
○平安丸 六月一日 群山發
本社 京城南大門 電話長一九五二番 京城南大門驛前 松原運送店

日本郵船仁川出帆

○大連、太沽、牛莊行
相模丸 六月四日 正午出帆
高砂丸 六月十二日 正午出帆
三河丸 五月廿三日 正午出帆
仁川海岸町十一番 堀回漕部

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
天智丸 五月三十日 午後五時
須磨丸 五月廿二日 出帆
○木浦、釜山、厳原、鄉の浦、長崎行
信濃川丸 五月廿九日 後二時出
○鎮南浦、大連行
信濃川丸 六月十一日 後二時出
○大連直行
福州丸 五月廿四日 正午出帆
潮州丸 六月五日
○木浦、釜山、關門、神戶、大阪行
安東丸 五月廿四日 後五時出
○群山、釜山、横濱行
潮州丸 六月九日
福州丸 五月廿九日 後二時出
○清津、浦潮行（元山出帆）
八城津、西湖津ニ寄港浦潮不寄港
印度丸 六月八日 後二時出
須磨丸 五月廿五日
安平丸
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
城津丸 五月廿六日 後四時出
基隆丸 六月
御注意 京城切符發賣所 大阪商船會社 仁川支店 內國通運會社支店

[illegible]